

TruLog Service Client/Server Configuration

ユーザーズガイド

Rev. 1.0.6



有限会社ディーオーアイネット

免責事項

- 1) 本資料に掲載された内容に起因する直接的および間接的な損害またはその他の権利の侵害に関して当社は一切その責任を負わない。
- 2) 本資料によって第三者または当社の特許権その他の権利を承諾するものではない。
- 3) 本資料の一部または全部を当社に無断で転載複製する事を禁ずる。
- 4) 本資料に記載された仕様等は改良などの目的で予告なく変更する場合がある。

本資料に記載された会社名ならびに製品名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品を輸出する場合は外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

変更履歴

Rev.	発行年月日	修正内容
1.0.0	2010/11/11	初版。
1.0.1	2012/04/17	バージョンアップに伴い対応 OS から Windows 2000 を削除。
1.0.2	2012/06/08	インストールの項にクライアント版について追記。
1.0.3	2013/05/01	対応 OS に Windows 8、Windows Server 2012 を追記。 ファイアウォールの設定を追記。 通信パイプの追加にアクセス許可を追記。
1.0.4	2014/12/04	対応 OS から日本語版の表記を削除。
1.0.5	2015/07/21	対応 OS に Windows 10 を追記。
1.0.6	2023/10/26	対応 OS を変更。

目次

1. はじめに	8
2. 動作環境について	8
a. クライアント PC 対応 OS	8
b. サーバー PC 対応 OS（クライアント/サーバーシステムで使用する場合）	8
c. 対応ネットワーク構成（クライアント/サーバーシステムで使用する場合）	8
3. 製品概要	8
a. 機能	8
b. パッケージ	9
i. シングルライセンス版	9
ii. ボリュームライセンス版	9
c. ログデータの保存先	9
d. 対応認証フレームワーク製品	9
e. 対応セキュリティ製品	9
f. ログビューアー	9
4. 注意事項	9
5. インストールとアンインストール手順	10
a. インストール	10
i. クライアント PC のみで使用する場合	10
ii. クライアント/サーバーシステムで使用する場合	10
b. アンインストール	13
6. 操作方法	14
a. クライアント PC のみで使用する場合	14
i. クライアント PC 側の設定	14
b. クライアント/サーバーシステムで使用する場合	15
i. サーバー PC 側の設定	15
1) 設定ウィザードの起動	15
2) 基本設定	16
(a) 自身をサーバーにする	16
(b) ワーニングをポップアップする	17
3) 設定ウィザードの終了	18
4) ファイアウォールの設定	19
(a) セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォールの起動	19
(b) 受信の規則	19
(c) 新しい規則の追加	21
(d) セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォールの終了	26
5) 通信パイプの追加	27

(a)	ローカルセキュリティポリシーの起動	27
(b)	名前付きパイプの追加	27
(c)	アクセス許可の追加	29
(d)	ローカルセキュリティポリシーの終了	31
ii.	クライアント PC 側の設定	31
1)	設定ウィザードの起動	31
2)	基本設定	33
(a)	ログデータをサーバーに転送する	33
(b)	ワーニングをポップアップする	33
3)	サーバー設定	34
(a)	サーバーPC の選択	35
(b)	接続テスト	36
4)	接続ウィザードの終了	38
5)	設定ファイルのエクスポート	39
6)	設定ファイルのインポート	41
c.	TruGate ログビューアー	43
i.	アプリケーションの起動	43
ii.	ログサイズの変更	45
iii.	データのエクスポート	46
iv.	アプリケーションの終了	48
d.	TruMonitor ログビューアー	49
i.	アプリケーションの起動	49
ii.	ログサイズの変更	52
iii.	データのエクスポート	53
iv.	デバイスリストの生成	54
v.	アプリケーションの終了	56

図表目次

図 1 セットアップウィザード起動画面	10
図 2 使用許諾契約画面	11
図 3 セットアップタイプの選択画面	11
図 4 インストール準備完了画面	12
図 5 インストールインジケータ画面	12
図 6 インストール完了画面	13
図 7 アプリと機能画面	13
図 8 アンインストール確認画面	14
図 9 アンインストールインジケータ画面	14
図 10 設定ウィザードの起動	15
図 11 設定ウィザード起動画面	16
図 12 基本設定 - サーバーPC 機能選択	17
図 13 基本設定 - ポップアップ機能選択	18
図 14 ワーニングポップアップメッセージ	18
図 15 設定ウィザード終了画面	19
図 16 セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール起動画面	20
図 17 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則	21
図 18 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則の種類	22
図 19 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプログラム	22
図 20 Windows Defender ファイアウォール - サービス設定のカスタマイズ	23
図 21 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプログラム設定終了	23
図 22 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプロトコルおよびポート	24
図 23 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のスコープ	24
図 24 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則の操作	25
図 25 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプロファイル	25
図 26 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則の名前	26
図 27 Windows Defender ファイアウォール - 新しい受信の規則	27
図 28 サーバーPC 設定 - セキュリティオプション(名前付きパイプ選択画面)	28
図 29 サーバーPC 設定 - ローカルポリシーの変更画面	29
図 30 サーバーPC 設定 - セキュリティオプション(アクセス許可選択画面)	30
図 31 サーバーPC 設定 - ローカルセキュリティの変更画面	31
図 32 設定ウィザードの起動	32
図 33 設定ウィザード起動画面	33
図 34 基本設定 - クライアント PC 機能選択	34
図 35 サーバー設定 - サーバーPC 選択	35
図 36 コンピュータの参照 - 起動画面	35

図 37 コンピュータの参照 - サーバーPC 選択画面.....	36
図 38 サーバー設定 - 接続テスト成功.....	37
図 39 サーバー設定 - 接続テスト失敗.....	38
図 40 設定ウィザード終了画面	39
図 41 基本設定 - エクスポート	40
図 42 設定ファイルのエクスポート画面	41
図 43 エクスポートの終了画面.....	41
図 44 基本設定 - インポート.....	42
図 45 設定ファイルのインポート画面.....	43
図 46 インポートの終了画面	43
図 47 TruGate ログビューアーの起動.....	44
図 48 TruGate ログビューアー起動画面	44
図 49 TruGate ログビューアー - リフレッシュ	45
図 50 ログデータファイルが無い場合の注意画面.....	45
図 51 TruGate ログビューアー - ログサイズ	46
図 52 最大ログサイズの設定.....	46
図 53 TruGate ログビューアー - エクスポート.....	47
図 54 エクスポートファイルの指定.....	48
図 55 TruGate ログビューアー - 終了	49
図 56 TruMonitor ログビューアーの起動	50
図 57 TruMonitor ログビューアー起動画面.....	51
図 58 TruMonitor ログビューアー - リフレッシュ.....	51
図 59 ログデータファイルが無い場合の注意画面.....	52
図 60 TruMonitor ログビューアー - ログサイズ.....	52
図 61 最大ログサイズの設定.....	53
図 62 TruMonitor ログビューアー - エクスポート.....	53
図 63 エクスポートファイルの指定.....	54
図 64 TruMonitor ログビューアー - デバイスリストの生成.....	55
図 65 デバイスリストファイルの指定.....	56
図 66 TruMonitor ログビューアー - 終了	57

1. はじめに

本ユーザーズガイドでは、ディーオーアイネット社製 TruLog Service(以下、ログサービスと呼ぶ)、ログサービスの動作設定を行うユーティリティである TruLogServiceConfig(以下、設定ウィザードと呼称)、ならびに専用ログビューアーの操作手順を説明します。

2. 動作環境について

a. クライアント PC 対応 OS

Windows 10 32bit/64bit

Windows 11

Windows Server 2016

Windows Server 2019

b. サーバーPC 対応 OS (クライアント/サーバーシステムで使用する場合)

Windows 10 32bit/64bit

Windows 11

Windows Server 2016

Windows Server 2019

注) サーバーPC では、「ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が設定されている必要があります。

c. 対応ネットワーク構成 (クライアント/サーバーシステムで使用する場合)

Workgroup

Domain

3. 製品概要

a. 機能

ログサービスは、OS のシステムサービスとして起動され、ディーオーアイネット社が提供する各種認証フレームワークやセキュリティ製品と連動し、認証結果やセキュリティイベントをローカルログに保存します。

また、クライアント PC とサーバー PC に、夫々ログサービスをインストールする事により、クライアント PC で取得されたログを、サーバー PC に転送および保存することが出来ます。

b. パッケージ

i. シングルライセンス版

主に個人ユーザー向けの製品パッケージです。exe インストーラパッケージで提供されます。

ii. ボリュームライセンス版

主に企業ユーザー向けの製品パッケージです。msi インストーラパッケージで提供されます。また、インストールされた PC 上の OS の「アプリと機能」からは削除できません。削除は Active Directory サーバーもしくは msi インストーラを再起動して実施します。32bit 版と 64bit 版があります。

c. ログデータの保存先

ログデータは、クライアント PC もしくは設定ウィザードで指定されたサーバー PC に保存されます。設定ウィザードでサーバー PC を利用するように設定されていた場合で、且つ、サーバー PC に接続出来ない時は、一旦クライアント PC に保存した後、サーバー PC に接続できるようになった時点で転送します。

保存されたログデータは、一定サイズを超えると、古いものから順次上書きされます。サイズの初期値は 1000 です。

d. 対応認証フレームワーク製品

以下に示す認証フレームワーク製品が既にインストールされている PC にログサービスをインストールすることにより、認証結果がログに保存されます。

注）認証結果は、指紋認証もしくはデバイス認証の結果であり、OS のユーザー認証の結果ではありません。OS のユーザー認証の結果は、OS のイベントビューアーをご参照ください。

ディーオーアイネット社製 TruGate ver.5.0.10 以上

e. 対応セキュリティ製品

以下に示すセキュリティ製品が既にインストールされている PC にログサービスをインストールすることにより、検出イベントがログに保存されます。

ディーオーアイネット社製 TruMonitor ver.5.0.10 以上

f. ログビューアー

保存された認証結果のログや検出イベントのログは、専用のログビューアーで一覧表示することができます。

4. 注意事項

1. シングルライセンス版とボリュームライセンス版を、一緒に同一 PC にインストールしないでくだ

さい。

5. インストールとアンインストール手順

注) プログラムのインストール及びアンインストールは、ローカルコンピュータの管理者権限でログオンして行ってください。ボリュームライセンス版のインストールにつきましては、TruMonitor に添付されている TruMonitor クライアントセットアップガイドをご参照ください。

a. インストール

i. クライアント PC のみで使用する場合

TruLog Trusted Stackware Logging Service.exe を実行すると下記に示す画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックしてください。

ii. クライアント/サーバーシステムで使用する場合

クライアント PC およびサーバー PC に、夫々、ログサービスを下記手順に従ってインストールしてください。



図 1 セットアップウィザード起動画面

次に、使用許諾契約画面が表示されますので、画面中の「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みになった上、ご同意頂ける場合のみ「使用許諾契約書のすべての条項に同意します」ラジオボタンをチェックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

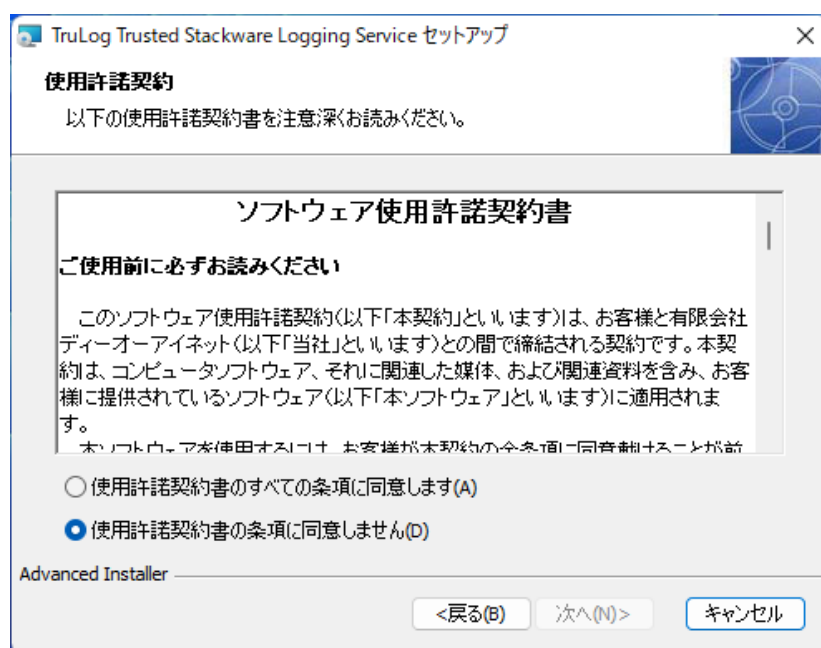


図 2 使用許諾契約画面

次に、セットアップタイプの選択画面が表示されたら、利用環境に応じて選択してください。

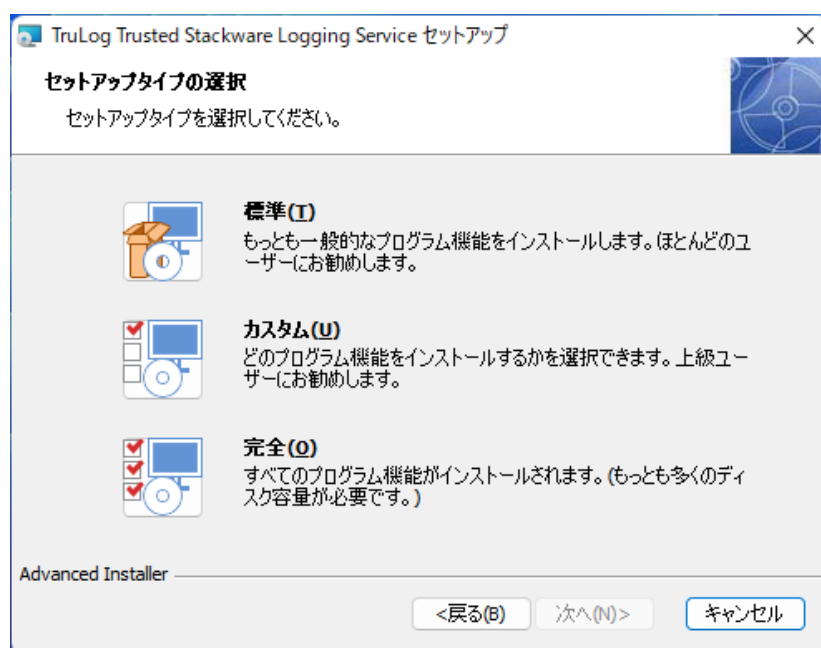


図 3 セットアップタイプの選択画面

次に、インストール準備完了画面が表示されますので、ここまでの操作で変更の必要が無い場合は、「インストール」ボタンをクリックしてください。変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックし、変更を希望する画面まで戻って、やり直してください。

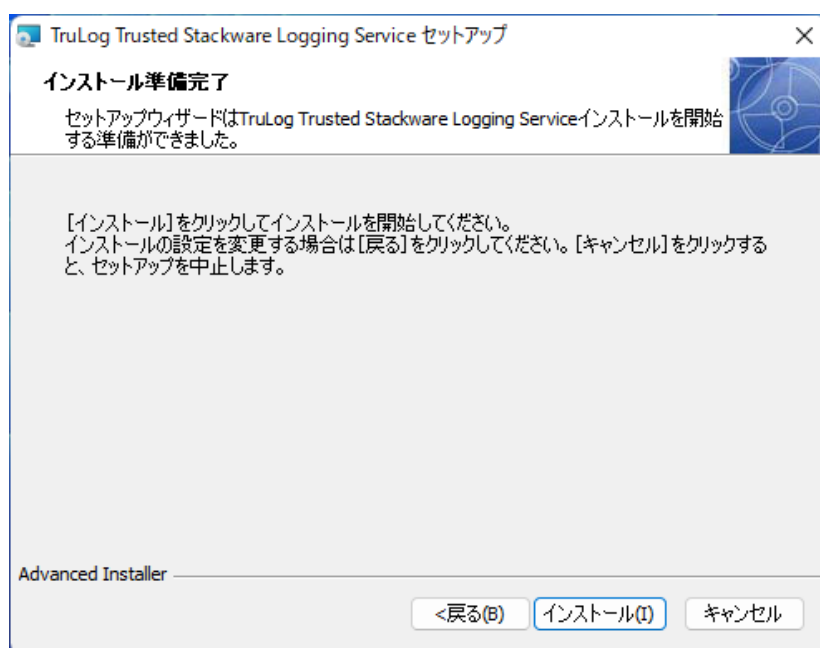


図 4 インストール準備完了画面

インストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。

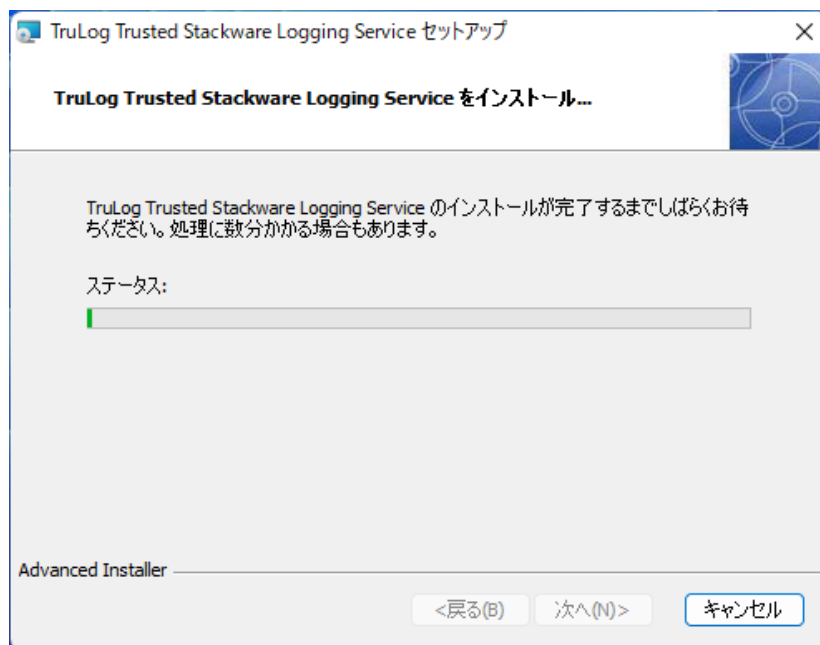


図 5 インストールインジケータ画面

インストールが終了すると、下記に示すインストール完了画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



図 6 インストール完了画面

b. アンインストール

OS の「アプリと機能」から TruLog Trusted Stackware Logging Service を選択してください。
以下は、Windows 11 での操作例です。

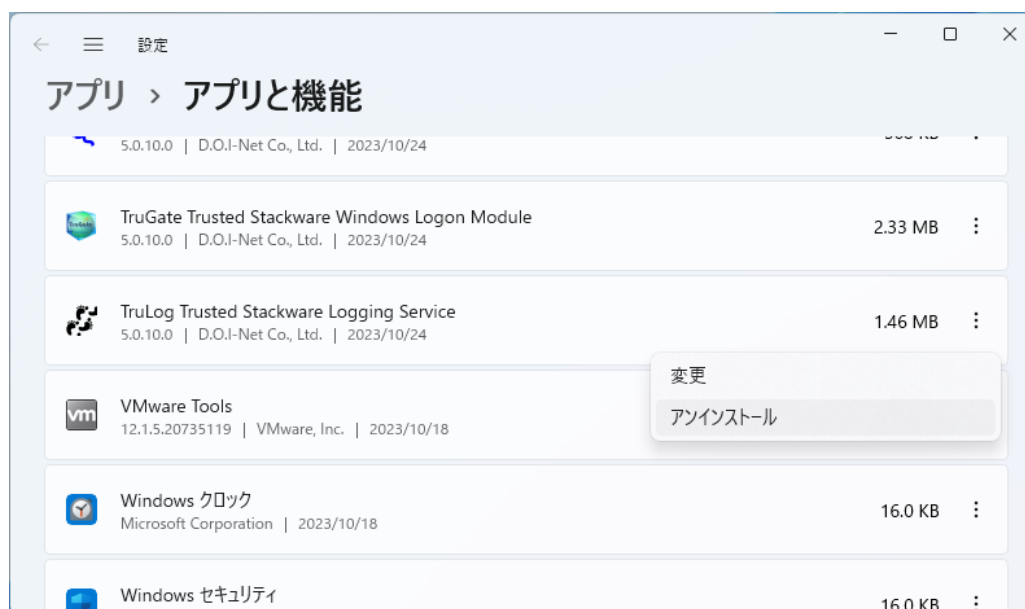


図 7 アプリと機能画面

アンインストールをクリックし、メッセージに従って TruLog のアンインストールを行ってください。

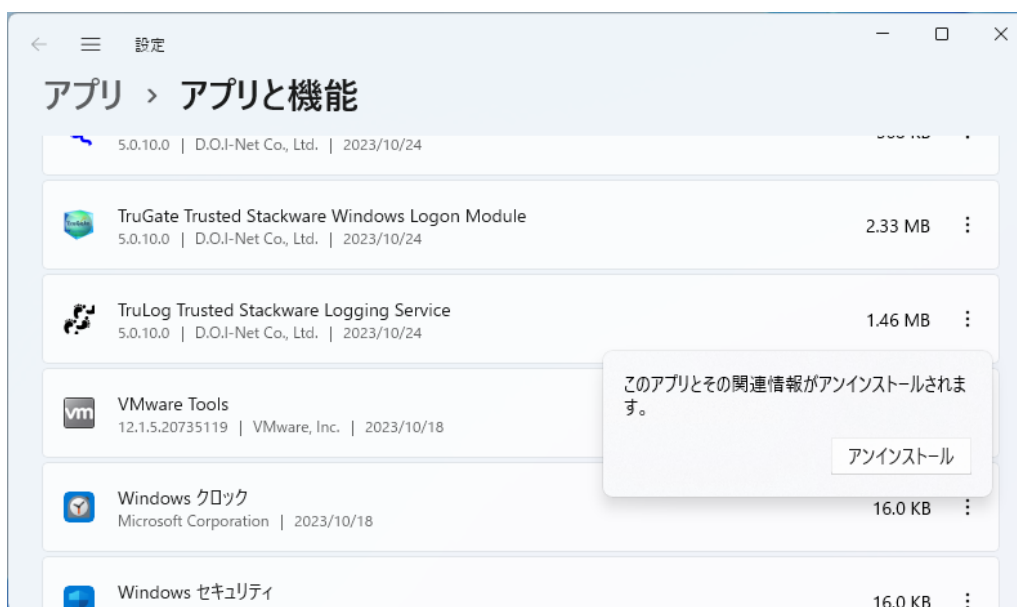


図 8 アンインストール確認画面

アンインストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。

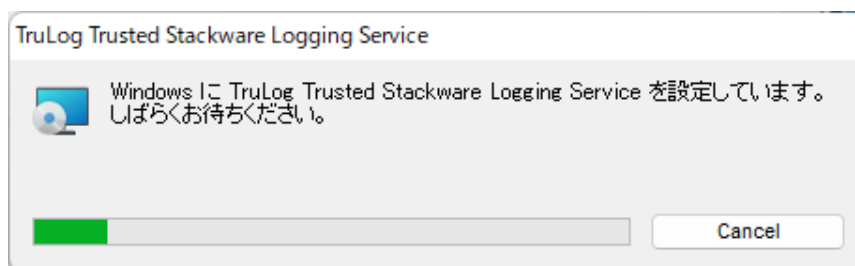


図 9 アンインストールインジケータ画面

アンインストールが終了すると、インジケータ画面が消えます。

6. 操作方法

注) 下記アプリケーションの操作は、ローカルコンピュータの管理者権限でログオンして行ってください。

a. クライアント PC のみで使用する場合

i. クライアント PC 側の設定

注) ログデータをクライアント PC に保存する場合は、設定を行う必要はありません。また、設定ウィザードの「基本設定」ページの「ワーニングをポップアップする」チェックボックスは、チェックしないでください。

b. クライアント/サーバーシステムで使用する場合

i. サーバーPC 側の設定

クライアント/サーバーシステムで使用する場合のみ、サーバーPC 側の設定を行ってください。

1) 設定ウィザードの起動

「スタート」―「すべてのアプリ」―「TruStack」―「TruLog の設定」の順にクリックします。



図 10 設定ウィザードの起動

下記に示す起動画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックして設定を開始してください。

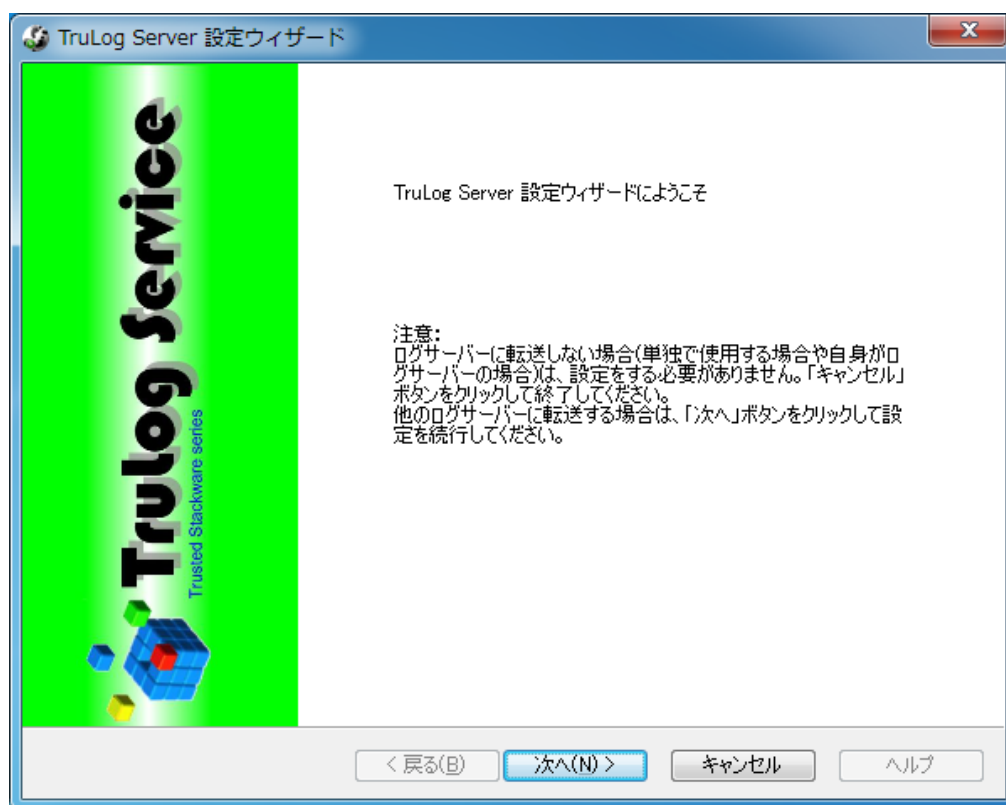


図 11 設定ウィザード起動画面

2) 基本設定

「基本設定」ページが表示されたら、必要に応じて下記に示す設定を行ってください。

(a) 自身をサーバーにする

自身の PC をログサーバーとして使用する場合、「転送しない」ラジオボタンをクリックしてください。

初期値：転送しない

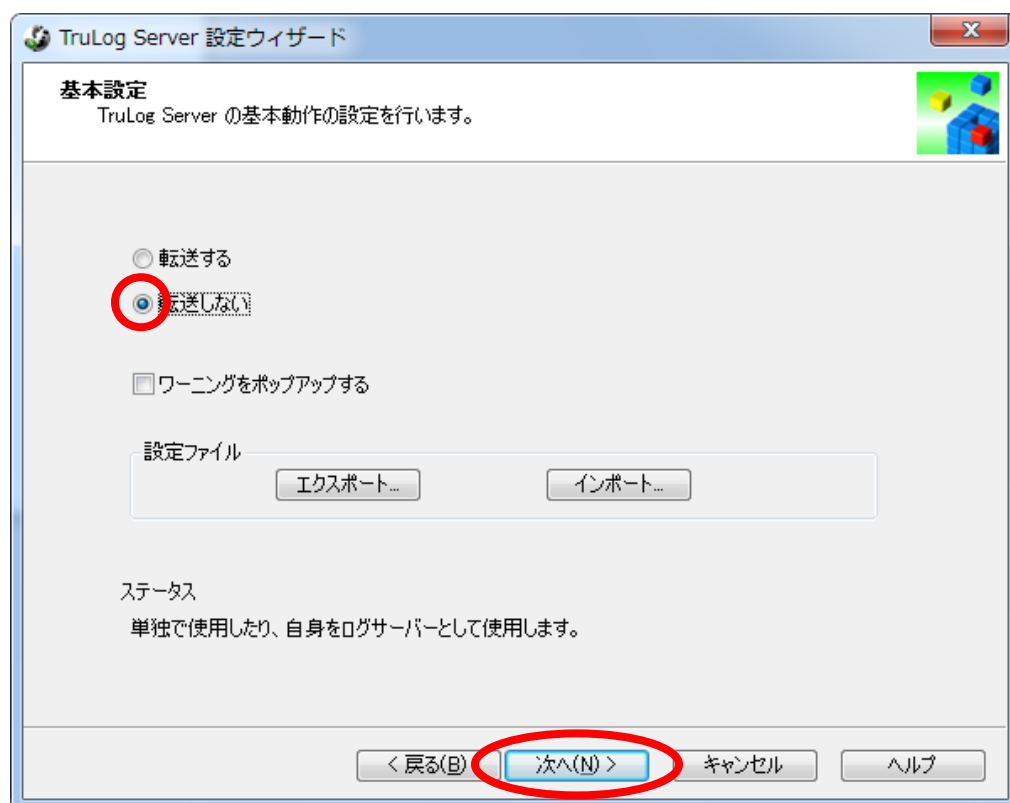


図 12 基本設定 - サーバーPC 機能選択

(b) ワーニングをポップアップする

このチェックボックスがチェックされていると、連動しているセキュリティ製品によって不正イベントが検出された時に、ポップアップメッセージを表示します。

初期値: アンチェック

注) 「ワーニングをポップアップする」がチェックされている場合、頻繁に不正イベントが検出されると、サーバーPC の画面がポップアップメッセージで埋め尽くされてしまいますのでご注意ください。

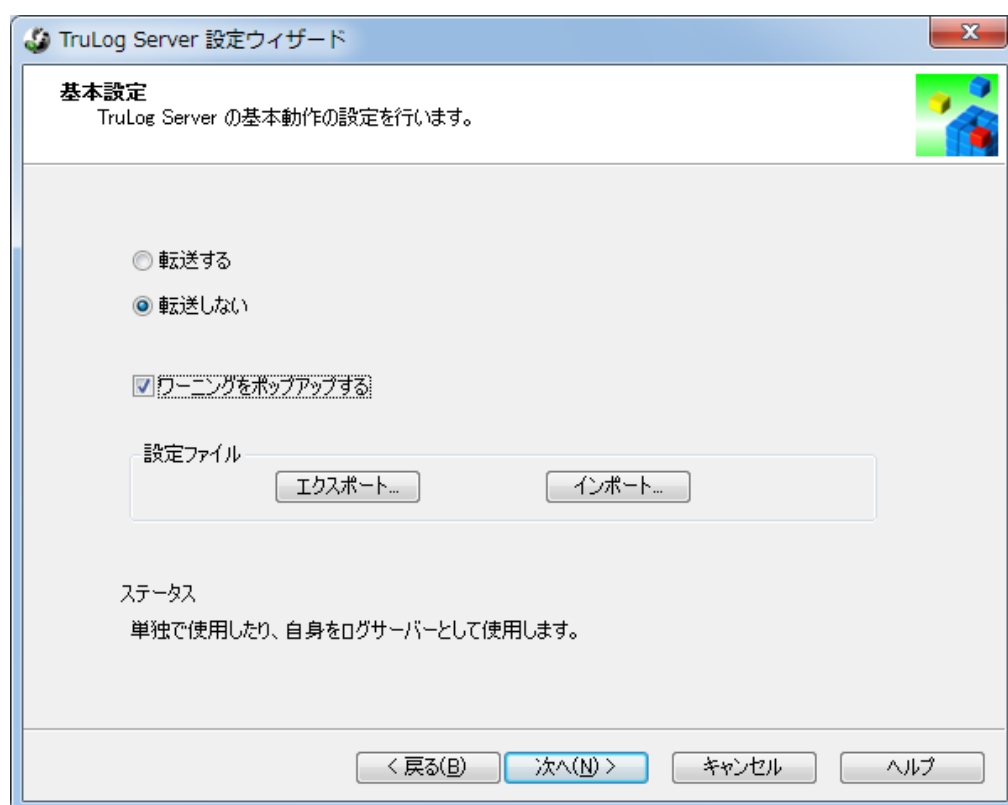


図 13 基本設定 - ポップアップ機能選択

下記に「ワーニングをポップアップする」がチェックされている場合の、ポップアップメッセージの表示例を示します。ポップアップメッセージが表示されたら内容を確認し、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

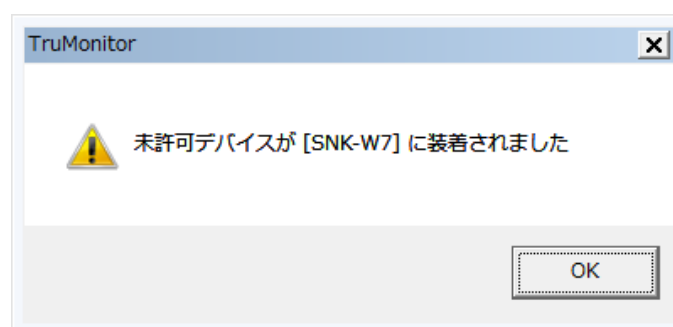


図 14 ワーニングポップアップメッセージ

3) 設定ウィザードの終了

基本設定が終了したならば、「次へ」ボタンをクリックしてください。「終了」ページで「完了」ボタンをクリックすると、設定した内容が保存されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定した内容が破棄されます。

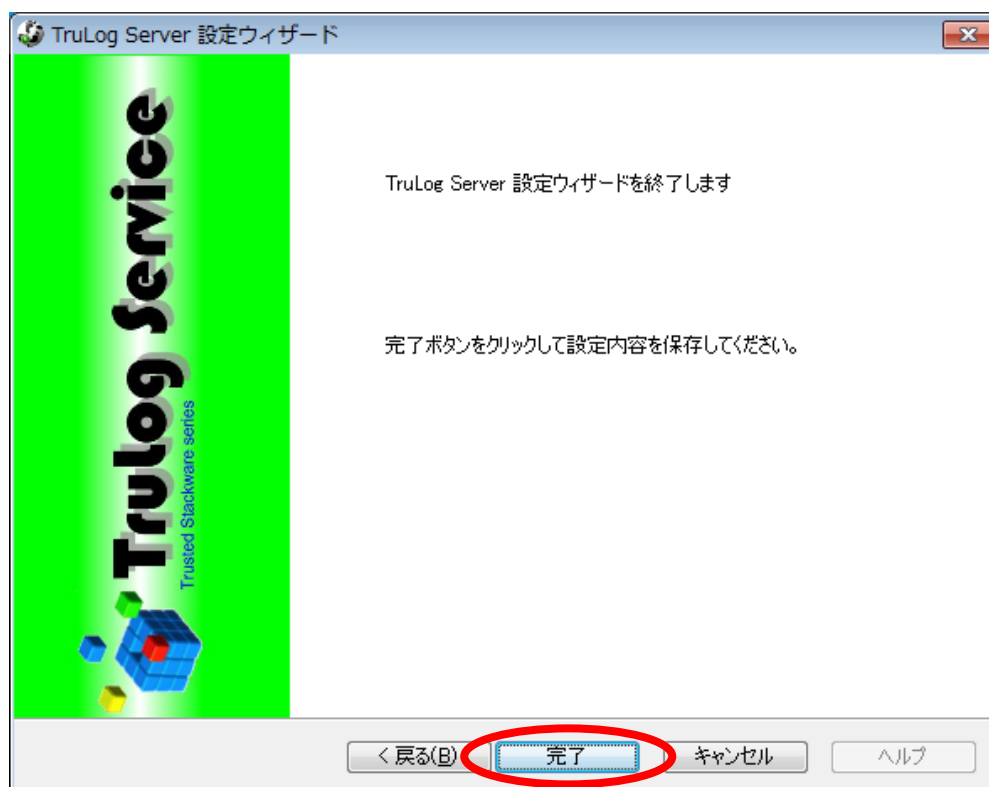


図 15 設定ウィザード終了画面

4) ファイアウォールの設定

(a) セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォールの起動

ログサービスをインストールしたサーバーPC の検索窓に、「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」と入力し、見つかったアプリケーションを起動します。

(b) 受信の規則

「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」ウィンドウが起動されたら、左側ペインで「受信の規則」を選択します。

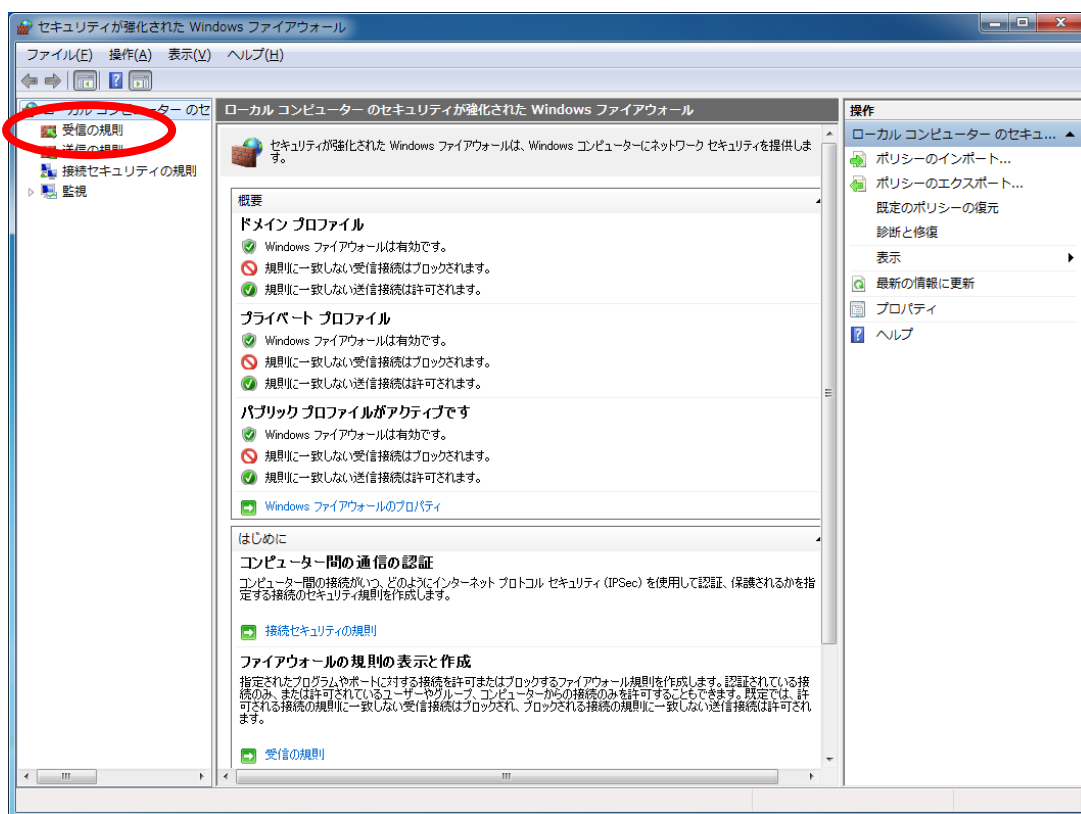


図 16 セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール起動画面

中央ペインに「受信の規則」が表示されたら、右ペインの「新しい規則…」をクリックします。

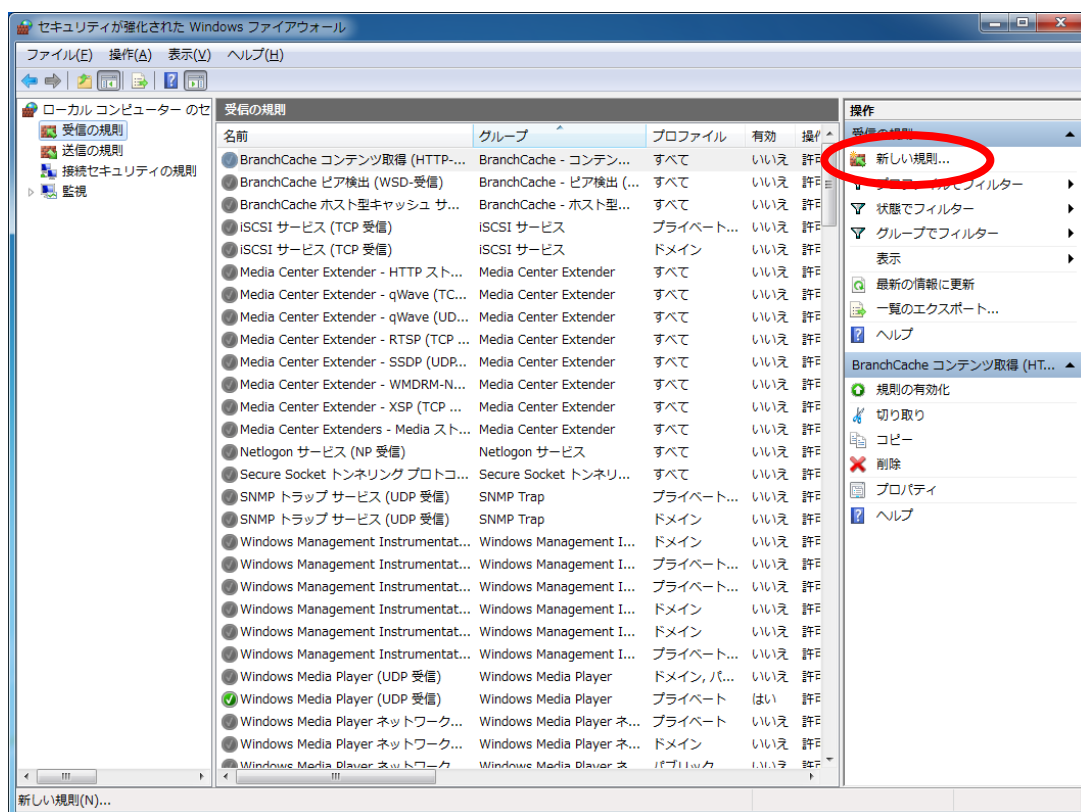


図 17 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則

(c) 新しい規則の追加

「新規の受信の規則ウィザード」が起動され、「規則の種類」画面が表示されたら、「カスタム」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

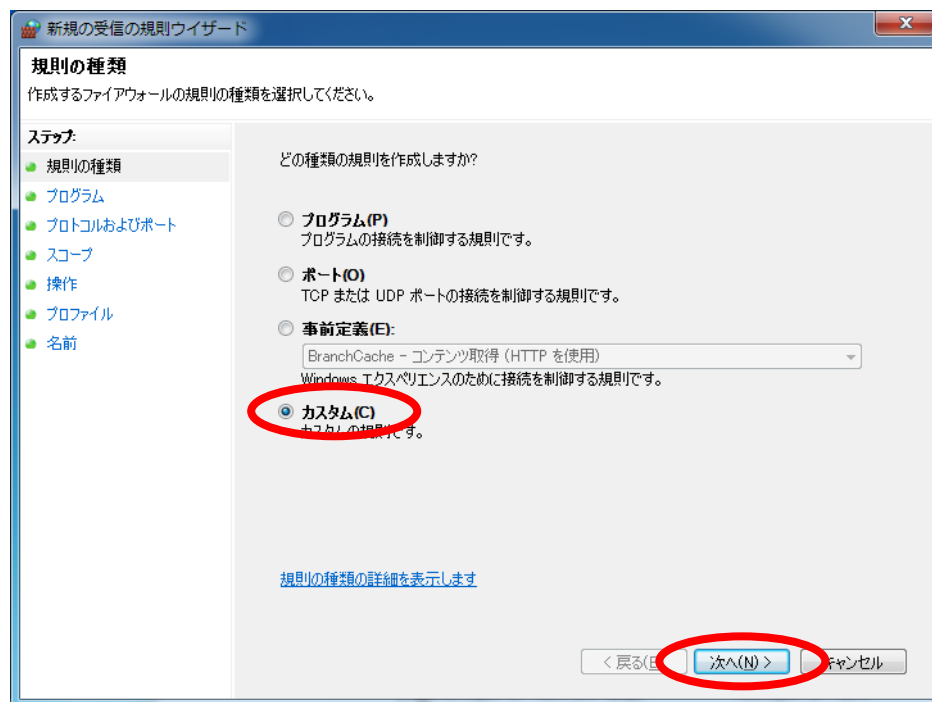


図 18 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則の種類

「プログラム」画面が表示されたら、「カスタマイズ...」ボタンをクリックします。

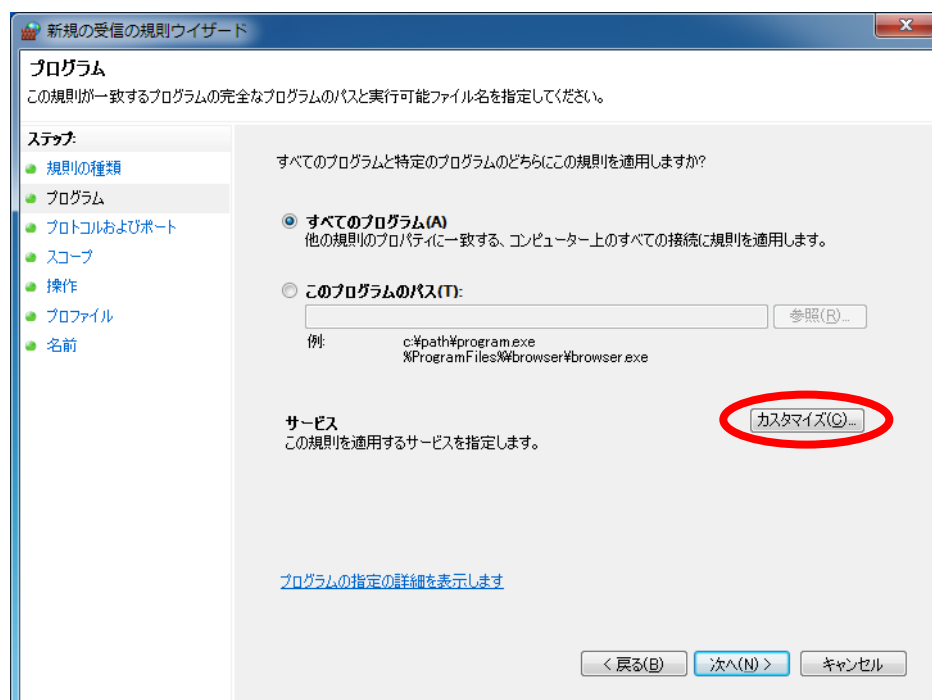


図 19 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプログラム

「サービス設定のカスタマイズ」画面が表示されたら、「このサービスに適用する」ラジオボタンをクリックし、リストボックスから「TruLog Service」を選択した後、

「OK」ボタンをクリックします。

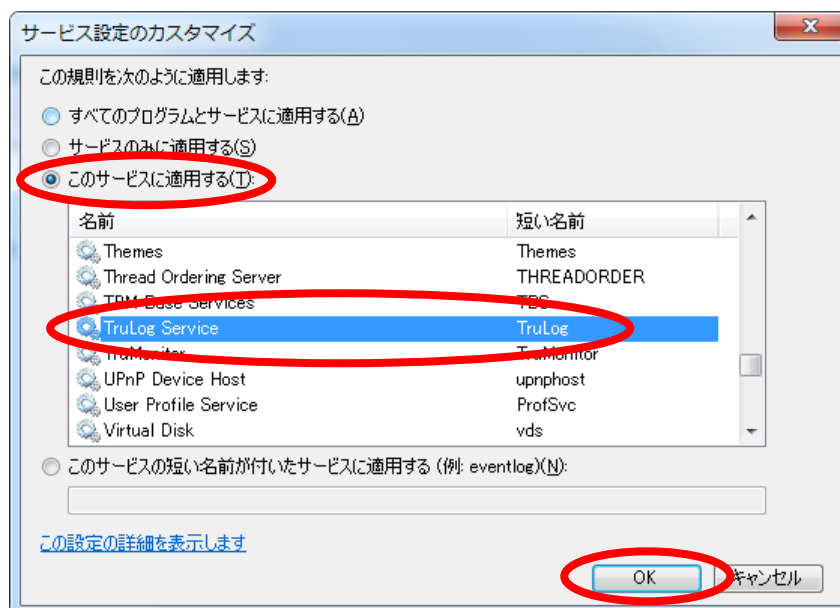


図 20 Windows Defender ファイアウォール - サービス設定のカスタマイズ

「プログラム」画面に戻ったら、「次へ」ボタンをクリックします。

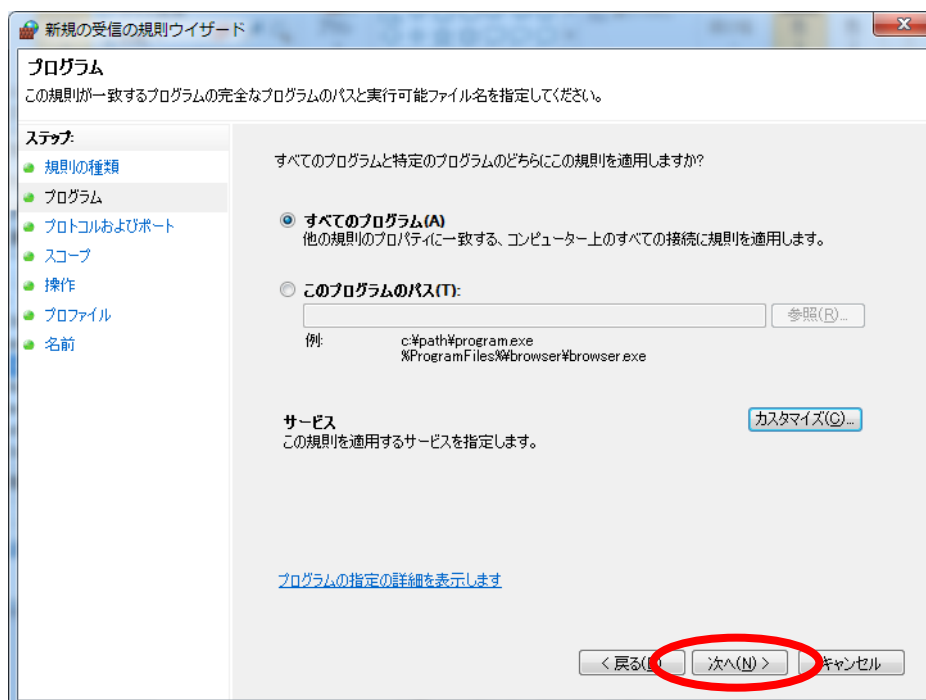


図 21 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプログラム設定終了

「プロトコルおよびポート」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

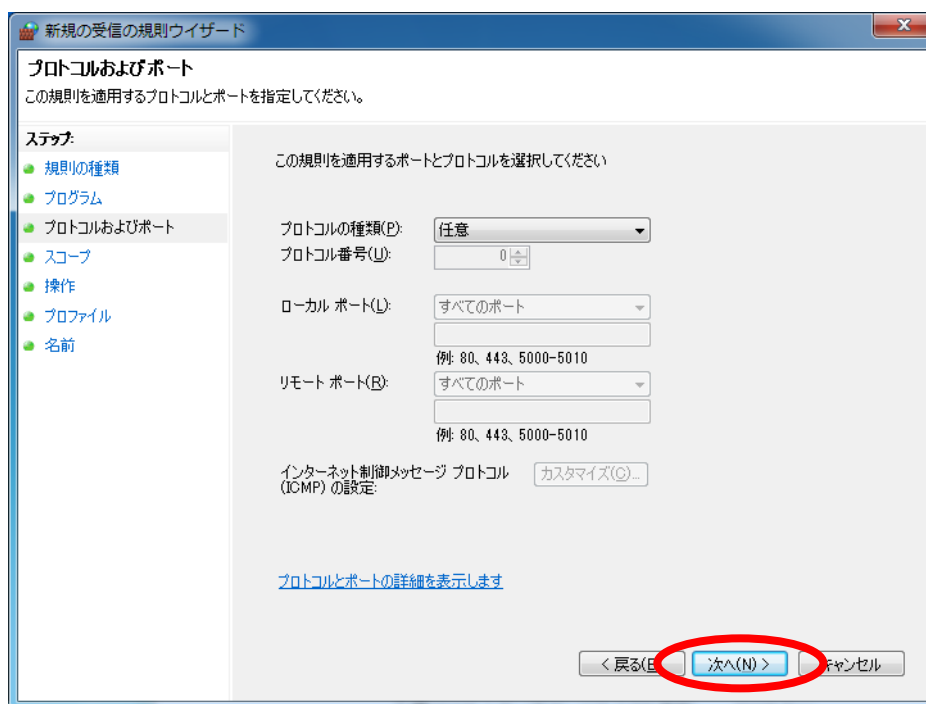


図 22 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプロトコルおよびポート

「スコープ」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

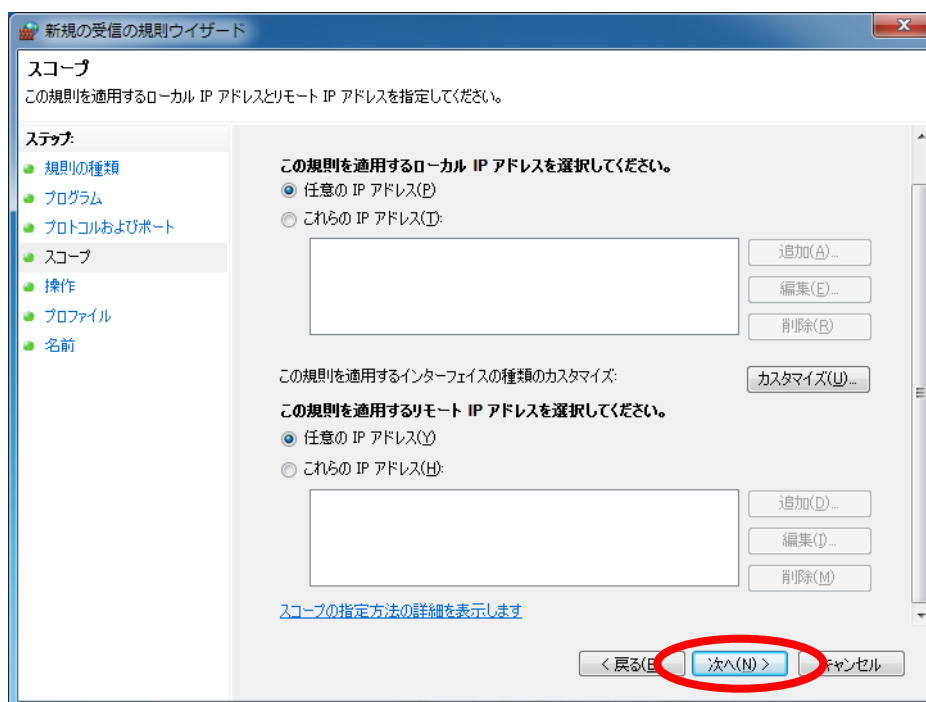


図 23 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のスコープ

「操作」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



図 24 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則の操作

「プロファイル」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。

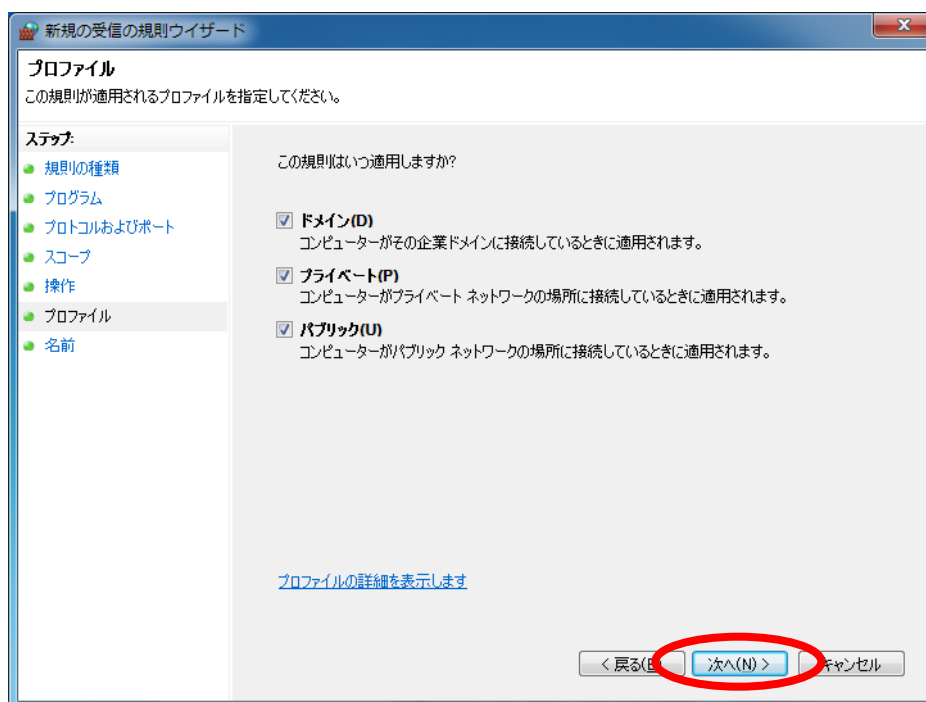


図 25 Windows Defender ファイアウォール - 受信の規則のプロファイル

「名前」画面が表示されたら、「名前」エディットボックスに「TruLog Service」と入力した後、「完了」ボタンをクリックし、「新規の受信の規則ウィザード」を終了し

ます。

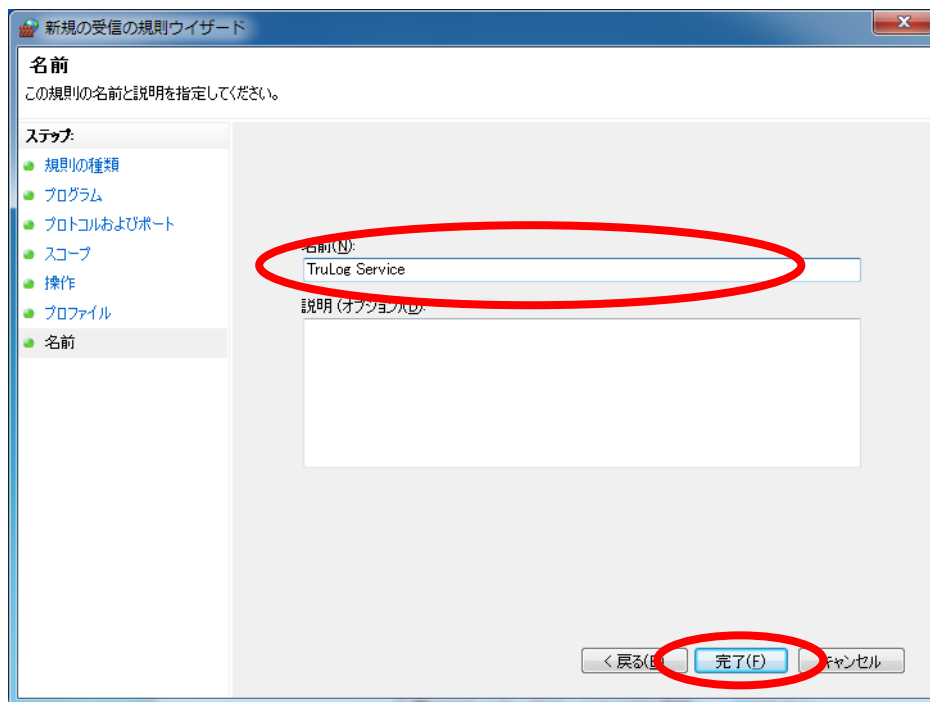


図 26 Windows Defender ファイアウォール – 受信の規則の名前

(d) セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォールの終了

「受信の規則」画面に戻ったら、新たに追加した規則が表示されている事を確認し、「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」ウィンドウのメニューバーから「ファイル」-「終了」の順にクリックして終了してください。

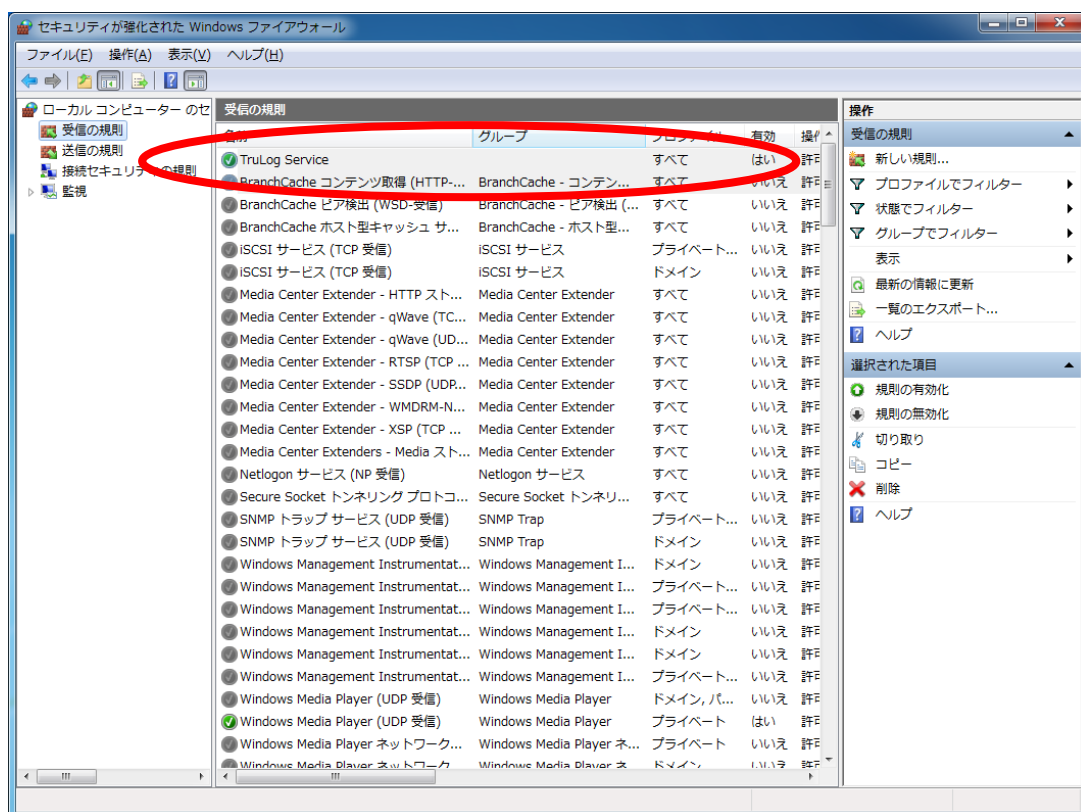


図 27 Windows Defender ファイアウォール - 新しい受信の規則

5) 通信パイプの追加

ネットワーク構成が Workgroup の場合において、正しいサーバーPC が選択されているにもかかわらず、後述のクライアント PC 側の設定の接続テストに失敗する時は、下記手順に従って、サーバーPC に通信パイプを追加してください。

(a) ローカルセキュリティポリシーの起動

ログサービスをインストールしたサーバーPC の検索窓に、「ローカル セキュリティ ポリシー」と入力し、見つかったアプリケーションを起動します。

(b) 名前付きパイプの追加

「ローカル セキュリティ ポリシー」ウィンドウが起動されたら、左側ペインで「セキュリティオプション」を選択した後、右側ペインから「ネットワーク アクセス: リモートからアクセスできる名前付きパイプ」を選択してダブルクリックします。

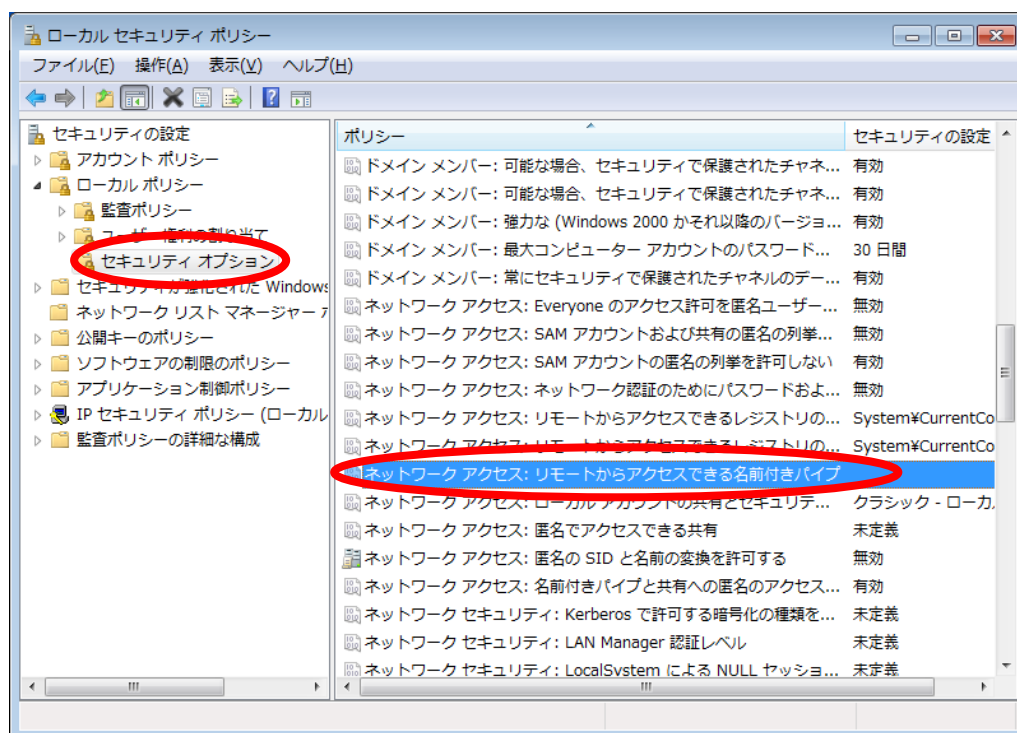


図 28 サーバーPC 設定 - セキュリティオプション(名前付きパイプ選択画面)

下記に示す「ネットワーク アクセス: リモートからアクセスできる名前付きパイプのプロパティ」ダイアログが表示されたら、「ローカルポリシーの設定」タブにおいて、中央ペインをクリックし、「trulogsvc」を追加します。

正常に追加されたら、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを終了してください。

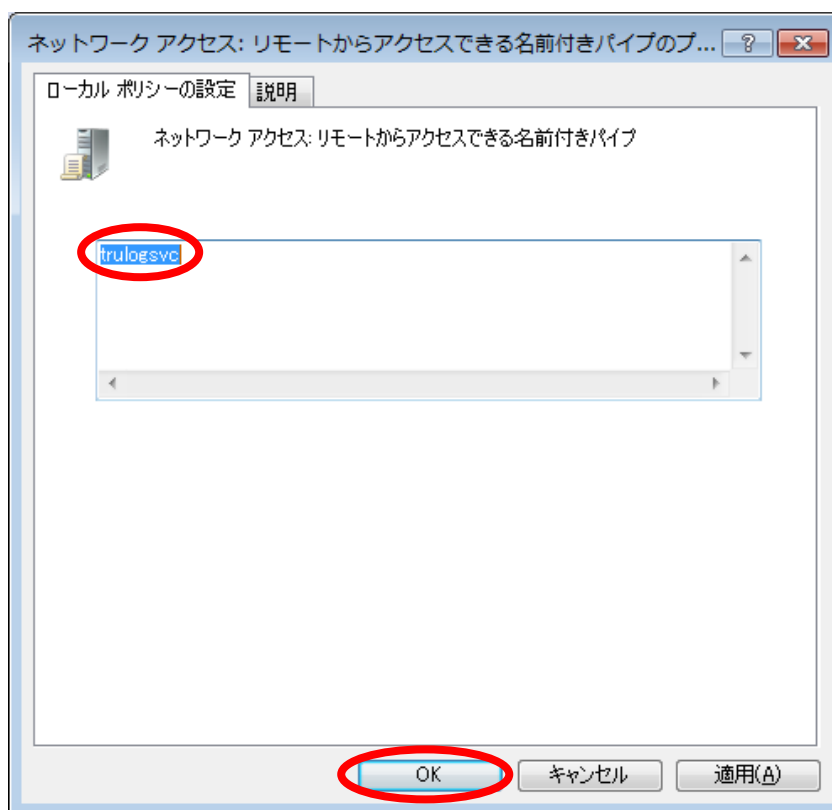


図 29 サーバーPC 設定 - ローカルポリシーの変更画面

(c) アクセス許可の追加

名前付きパイプの追加が終了したら、右側ペインから「ネットワーク アクセス: Everyone のアクセス許可を匿名ユーザーに適用する」を選択してダブルクリックします。

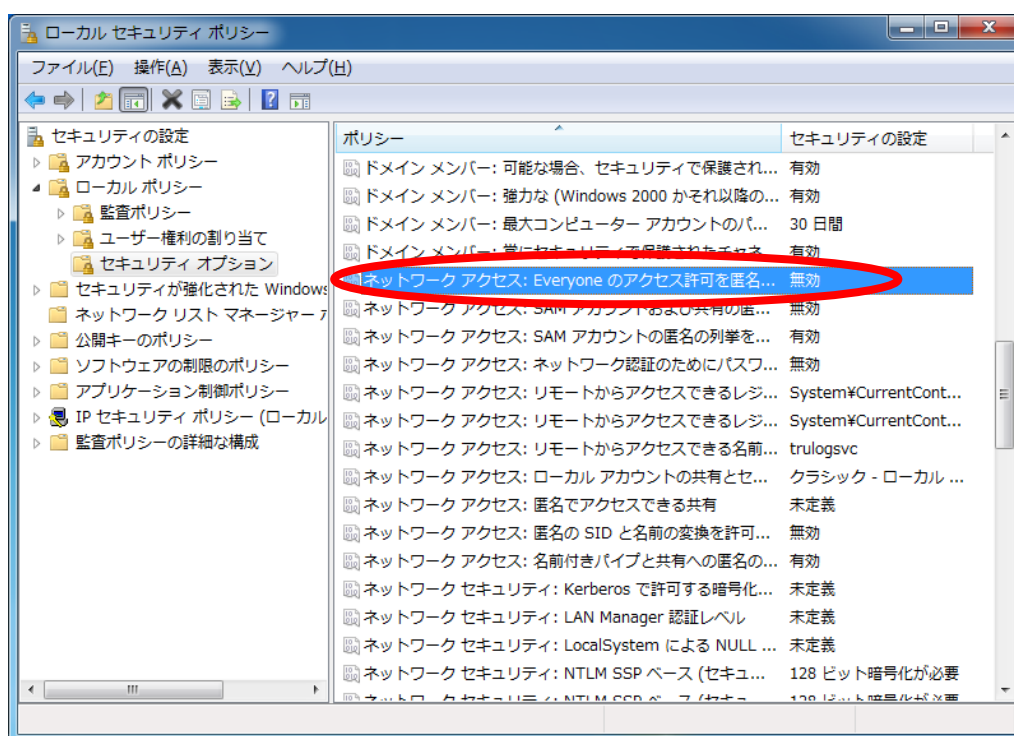


図 30 サーバーPC 設定 - セキュリティオプション(アクセス許可選択画面)

下記に示す「ネットワーク アクセス: Everyone のアクセス許可を匿名ユーザーに適用するのプロパティ」ダイアログが表示されたら、「ローカルセキュリティの設定」タブにおいて、有効ラジオボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを終了してください。

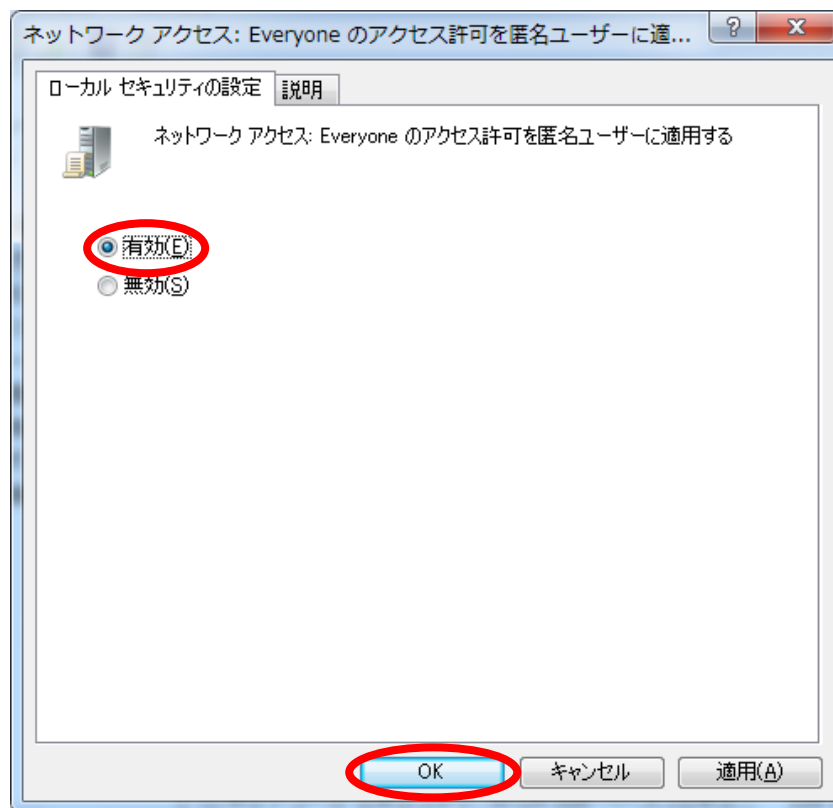


図 31 サーバーPC 設定 - ローカルセキュリティの変更画面

(d) ローカルセキュリティポリシーの終了

名前付きパイプとアクセス許可の追加が終了したら、「ローカル セキュリティ ポリシー」ウィンドウのメニューバーから「ファイル」-「終了」の順にクリックし、終了してください。

ii. クライアント PC 側の設定

1) 設定ウィザードの起動

「スタート」-「すべてのアプリ」-「TruStack」-「TruLog の設定」の順にクリックします。

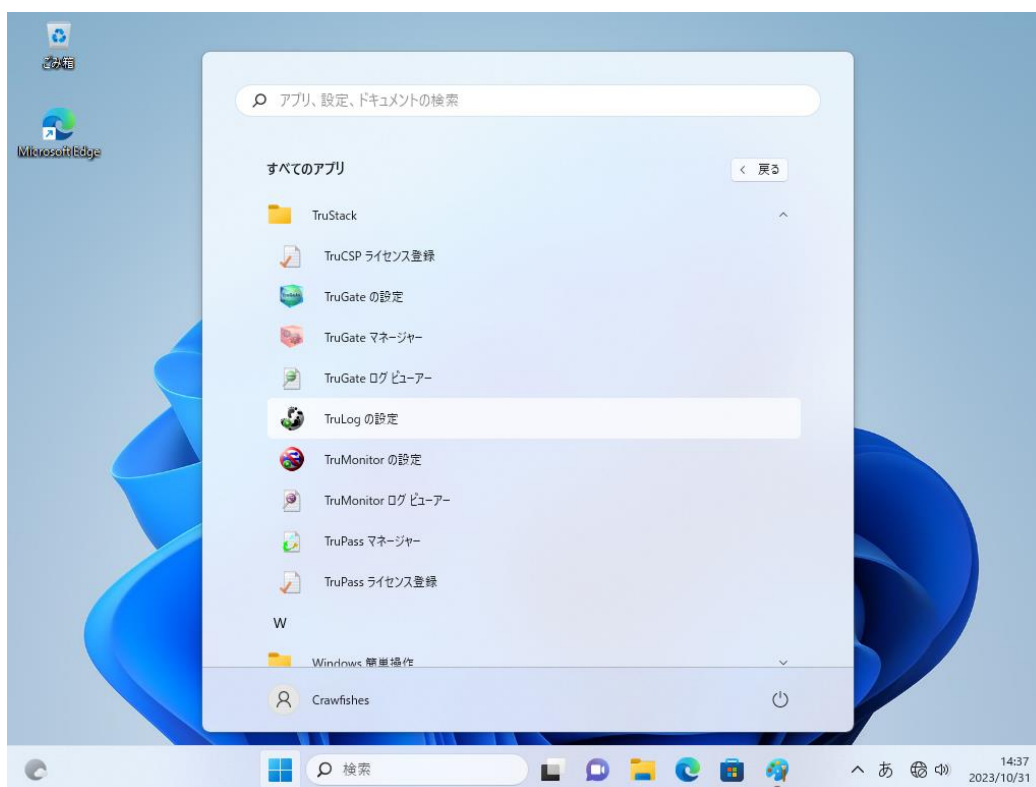


図 32 設定ウィザードの起動

下記に示す起動画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックして設定を開始してください。

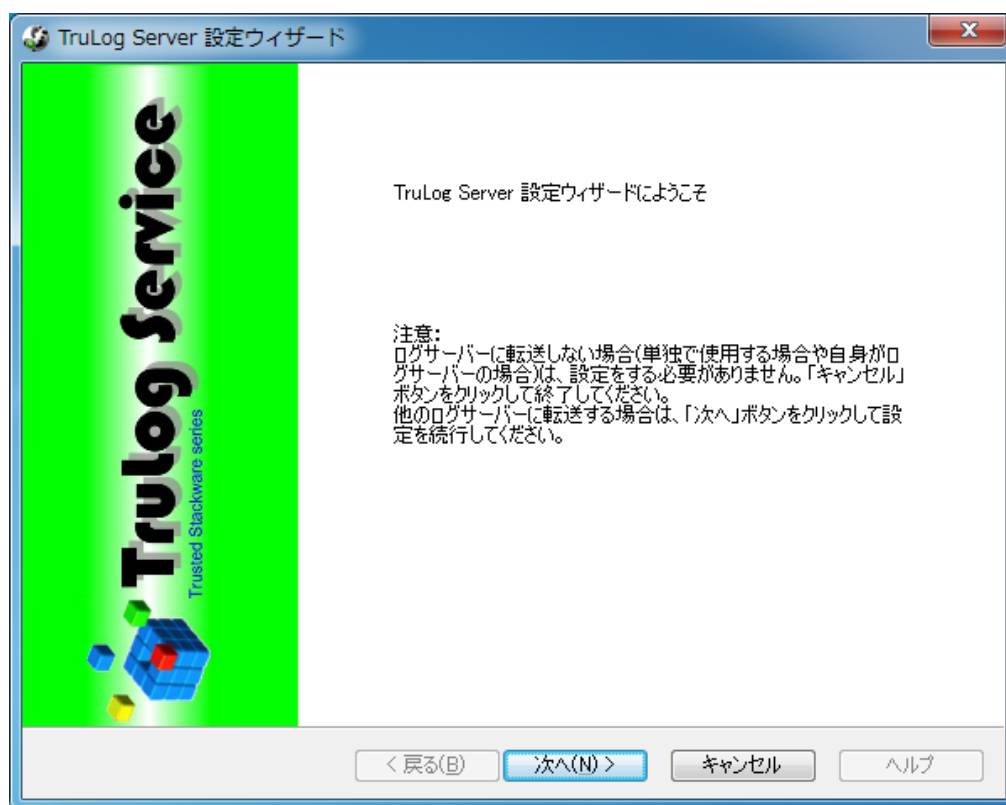


図 33 設定ウィザード起動画面

2) 基本設定

「基本設定」ページが表示されたら、下記に示す設定を行った後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

(a) ログデータをサーバーに転送する

クライアント/サーバーシステムで使用する場合、画面表示に従って「転送する」ラジオボタンをクリックしてください。

初期値: 転送しない

(b) ワーニングをポップアップする

「転送する」ラジオボタンが選択されている時、このチェックボックスは利用できません。

初期値: アンチェック

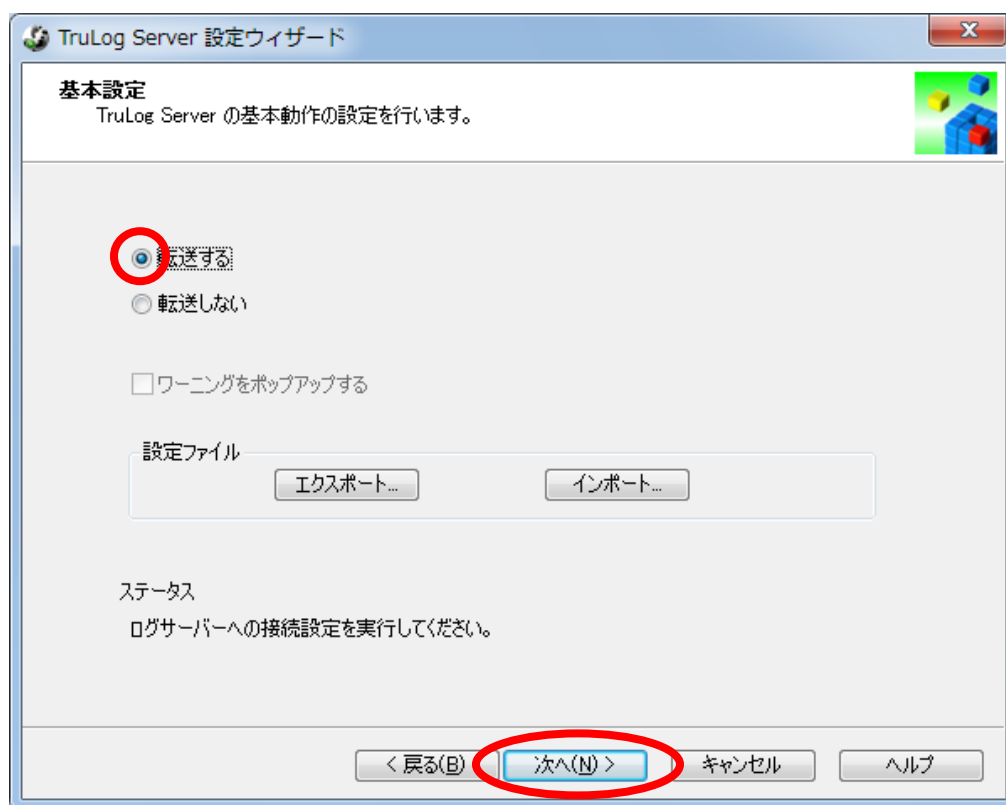


図 34 基本設定 - クライアント PC 機能選択

3) サーバー設定

注) サーバー設定を実施するには、サーバーPC 側の設定が完了している必要があります。先にサーバーPC 側の設定を行ってください。

「サーバー設定」ページが表示されたら、「選択...」ボタンをクリックしてサーバーPC を選択するか、「ログサーバー名」エディットボックスにサーバーPC 名を入力してください。

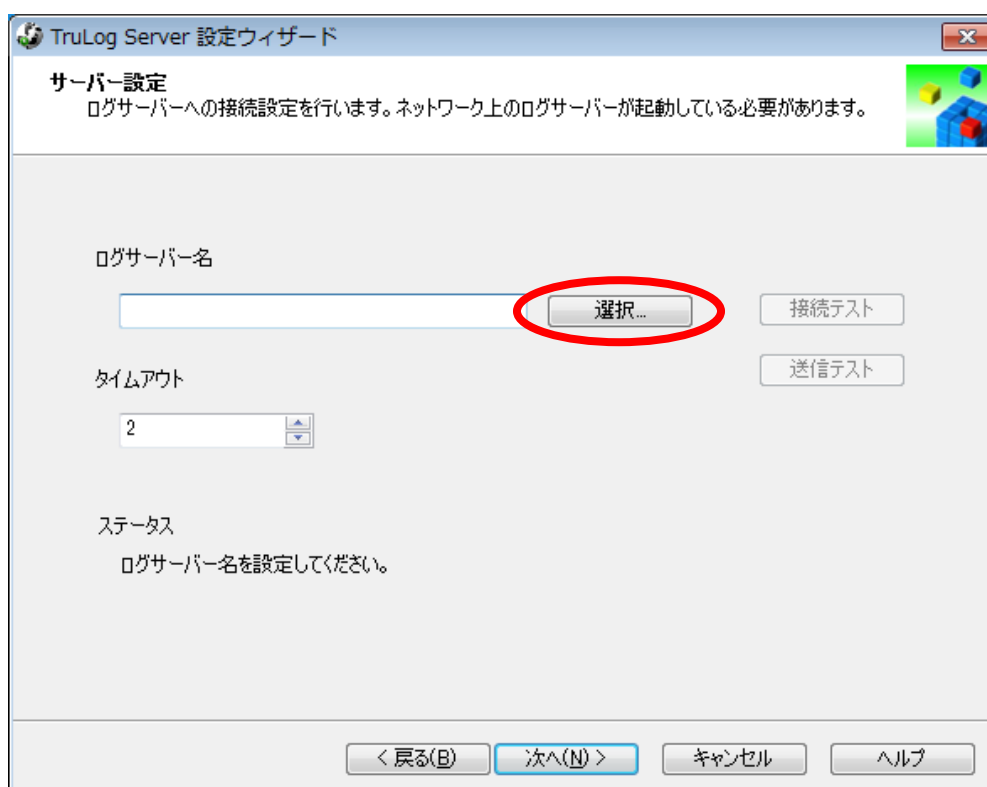


図 35 サーバー設定 - サーバーPC 選択

(a) サーバーPC の選択

「選択...」ボタンがクリックされると、下記に示す「コンピュータの参照」ダイアログが表示されます。

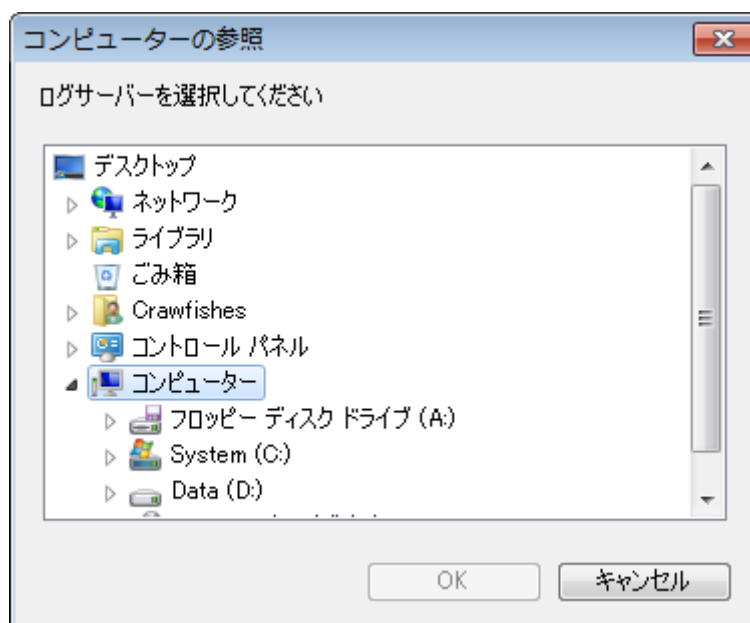


図 36 コンピュータの参照 - 起動画面

「コンピュータの参照」ダイアログが表示されたら、予めログサービスをインストールしたサーバーPC をネットワークから選択してください。

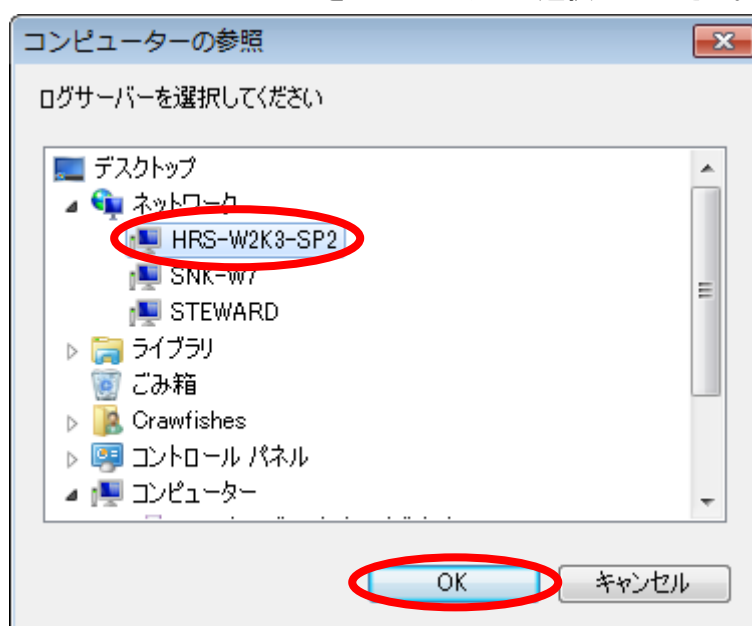


図 37 コンピュータの参照 - サーバーPC 選択画面

有効なコンピュータが選択されると、「OK」ボタンがアクティブに変化します。サーバーPCの選択が終了したら、「OK」ボタンをクリックし、「コンピュータの参照」ダイアログを閉じてください。

サーバーPC が選択されると、「サーバー設定」ページの「ログサーバー名」エディットボックスに、選択されたサーバーPC 名が表示されます。

(b) 接続テスト

「ログサーバー名」エディットボックスにサーバーPC 名が入力されると、「接続テスト」ボタンと「送信テスト」ボタンが有効になります。有効になったら、「接続テスト」ボタンをクリックしてください。

選択されたサーバーPC との接続テストが正常終了すると、ステータス欄に成功を示すメッセージが表示されます。

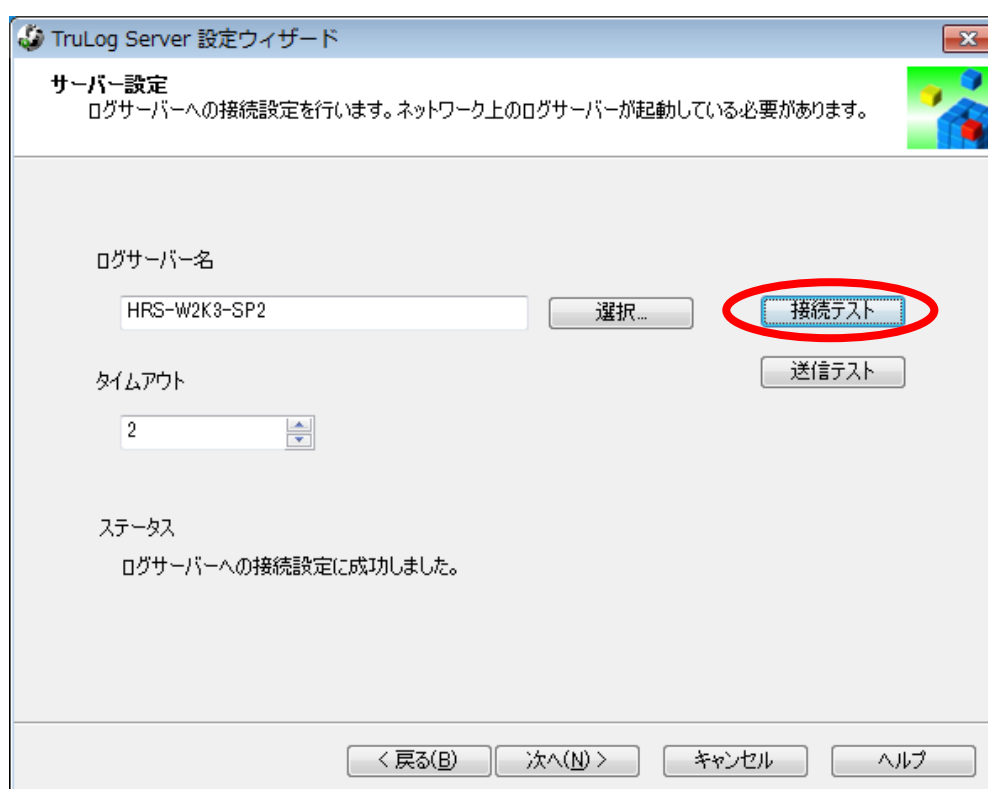


図 38 サーバー設定 - 接続テスト成功

下図のようにメッセージが失敗を示す時は、正しいサーバーPC が選択されているかご確認ください。また、ネットワークトラフィックの混雑程度に応じて、タイムアウト値を変更してみてください。

「送信テスト」ボタンをクリックすると、クライアント PC 上のログサービスにテスト用のデータを送信します。サーバーPC との接続が正常であれば、サーバーPC にデータが転送されます。接続出来ない時は、一旦クライアント PC に保存した後、サーバーPC に接続できるようになった時点で転送します。

サーバーPC で「TruGate ログビューアー」を起動し、テスト用のデータが正常に受信できたか確認してください。

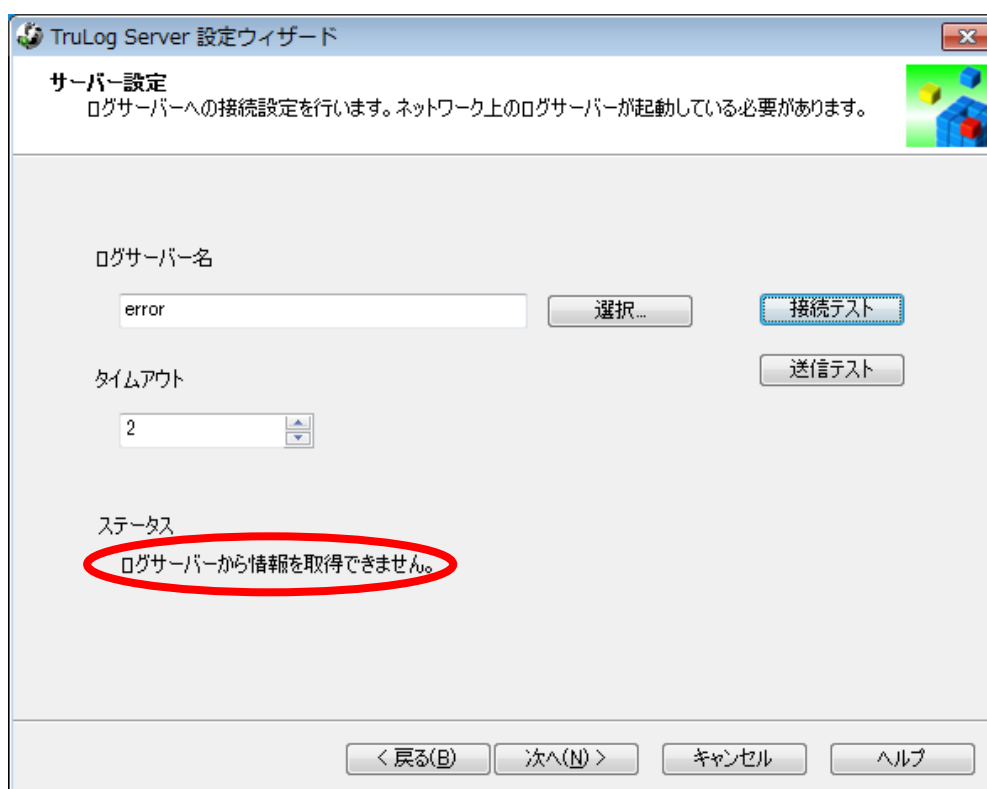


図 39 サーバー設定 - 接続テスト失敗

4) 接続ウィザードの終了

接続テストが正常終了したならば、「次へ」ボタンをクリックしてください。「終了」ページが表示されたら、「完了」ボタンをクリックし、設定した内容を保存してください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定した内容が破棄されます(但し、「基本設定」ページにおいて「設定ファイル」の「インポート」ボタンをクリックしてインポートされた内容は破棄されません)。

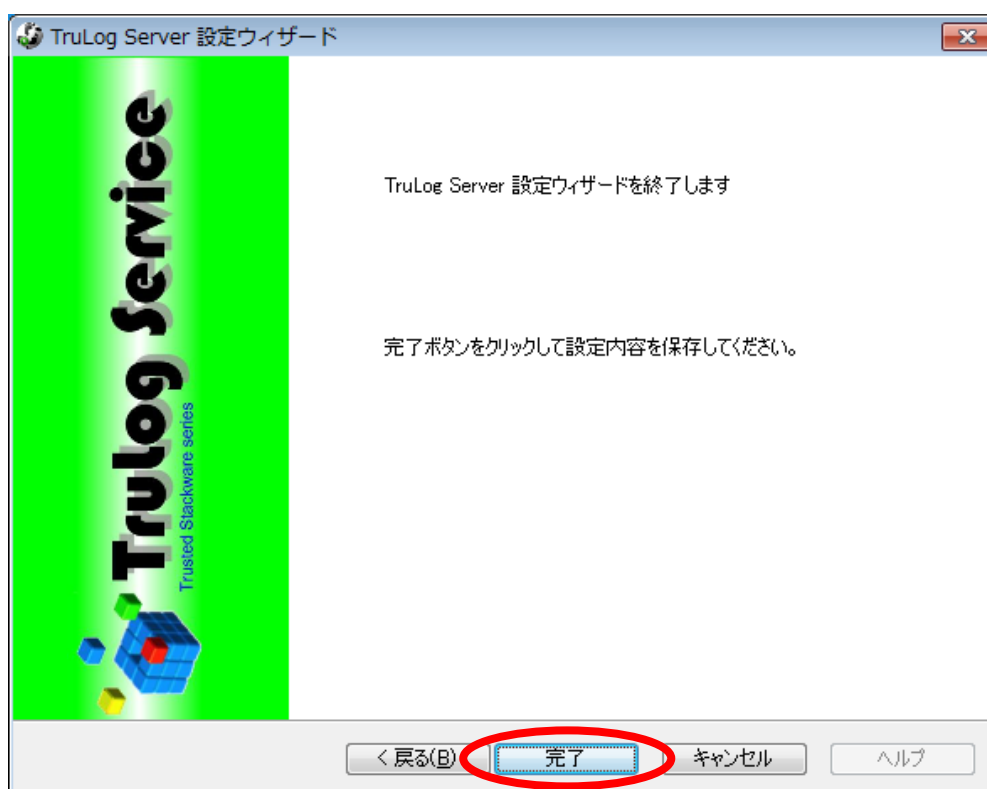


図 40 設定ウィザード終了画面

5) 設定ファイルのエクスポート

設定ファイルのエクスポートを行う場合は、「基本設定」ページ中の「エクスポート…」ボタンをクリックしてください。

注) エクスポートは、既に設定されている内容出力します。直近に行った設定で、「完了」ボタンをクリックして保存したときの内容が反映されます。通常の手順では、一旦設定を行った後に、再度、設定ウィザードを起動し、エクスポートした後、設定ウィザードをキャンセルで終了してください。

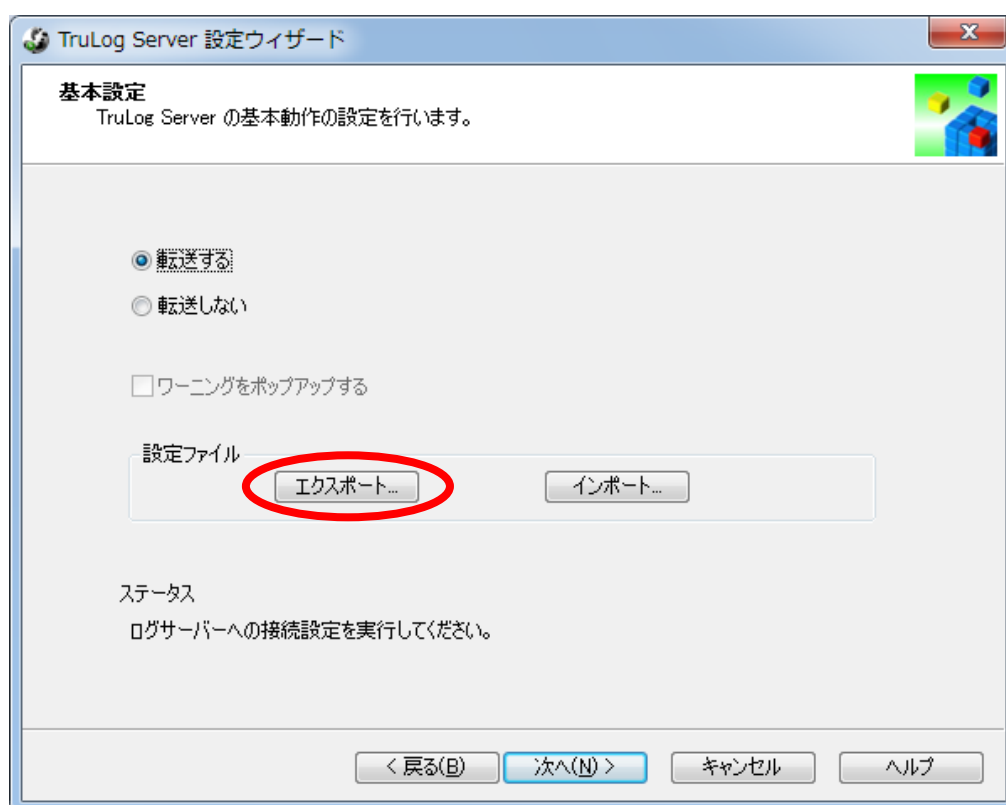


図 41 基本設定 - エクスポート

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されたら、エクスポートしたいファイルの場所を指定し、ファイル名コンボボックスに、任意のエクスポートファイル名を入力した後、「保存」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エクスポートを中止します。

ボリュームライセンス版をご利用で、配布用の設定ファイルをエクスポートする場合は、「ファイルの種類」ドロップダウンリストで「ポリシー テンプレート」か「レジストリファイル」を選んでエクスポートしてください。

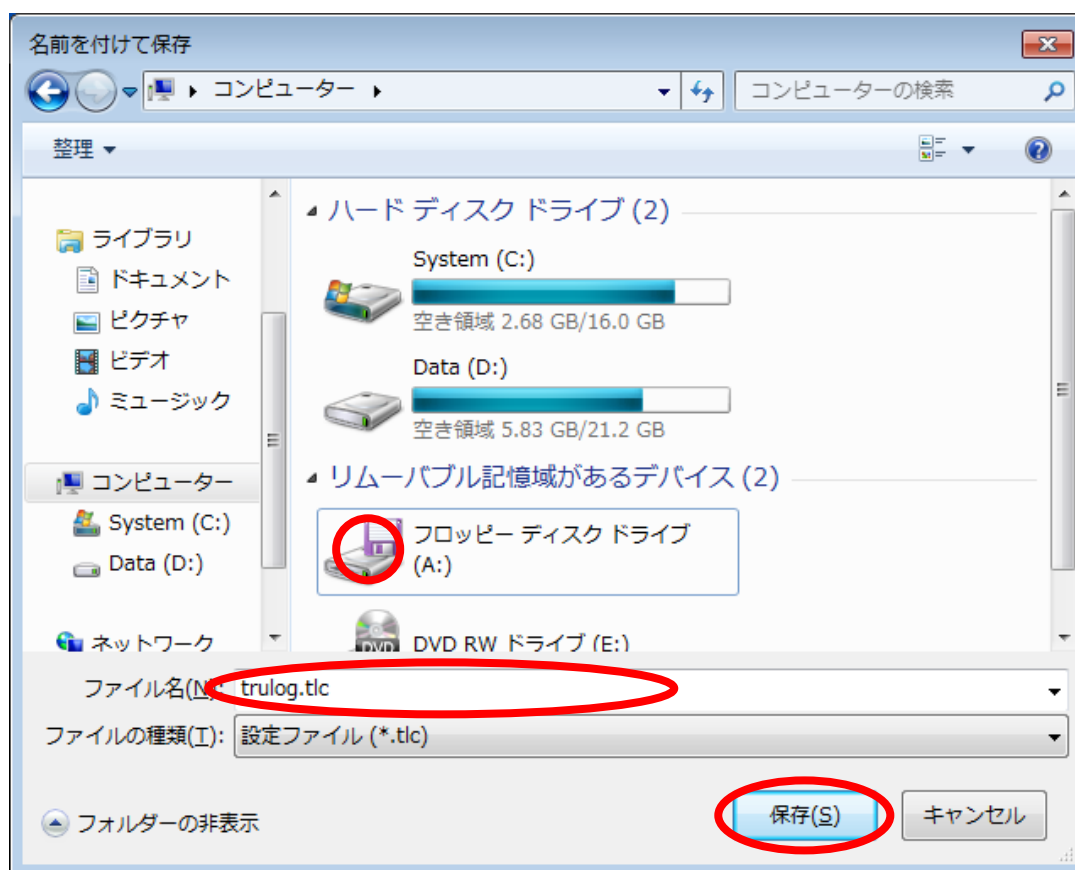


図 42 設定ファイルのエクスポート画面

正常にエクスポートされた場合、下記に示す様な「エクスポートの終了」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

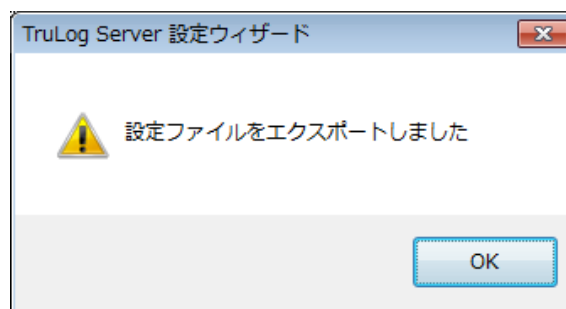


図 43 エクスポートの終了画面

6) 設定ファイルのインポート

設定ファイルのインポートを行う場合は、「基本設定」ページ中の「インポート...」ボタンをクリックしてください。

注) インポートを実施すると、設定情報は直ちに上書きされます。インポート実施後の、「キャンセル」ボタンによるインポート操作の取り消しはできませんので、ご注意ください。

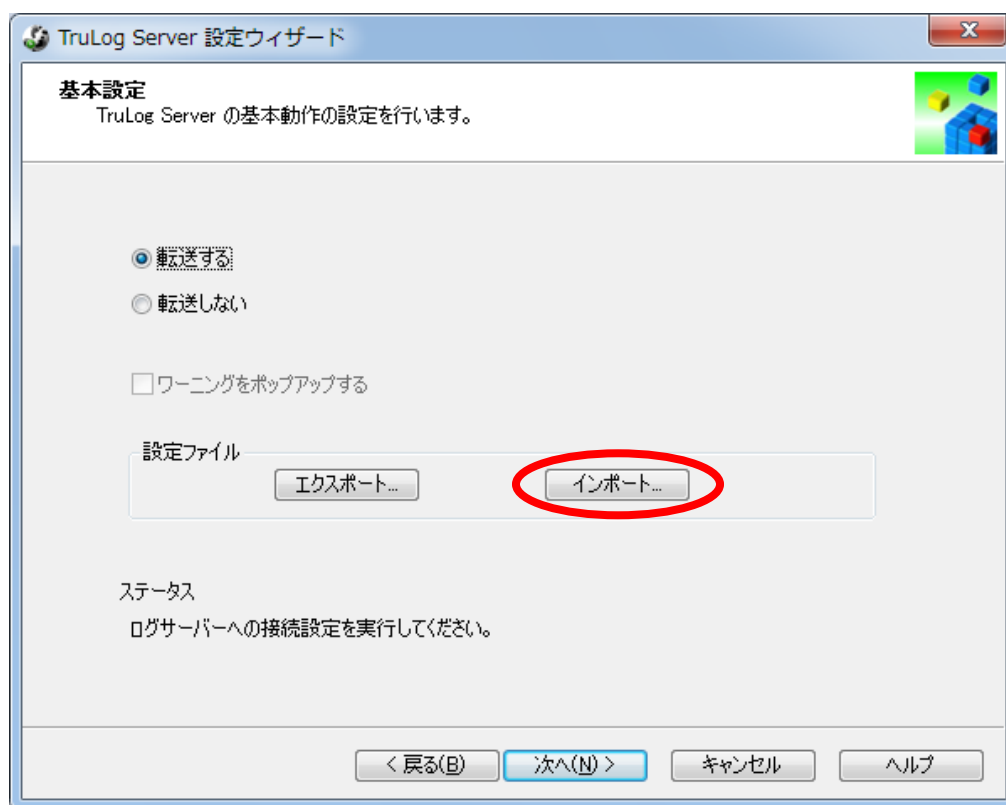


図 44 基本設定 - インポート

「ファイルを開く」ダイアログが表示されたら、インポートするファイルの場所を指定し、ファイル名コンボボックスに、インポートファイル名を入力した後、「開く」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、インポートを中止します。

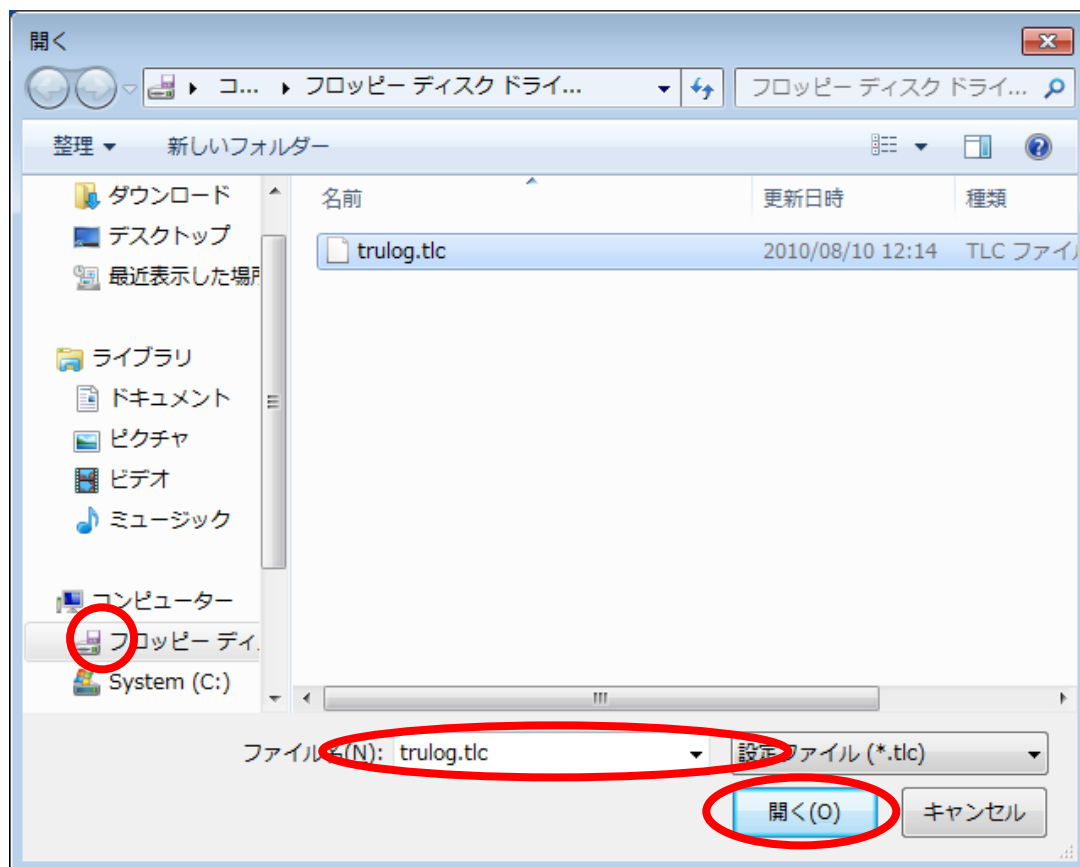


図 45 設定ファイルのインポート画面

正常にインポートされた場合、下記に示す「インポートの終了」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

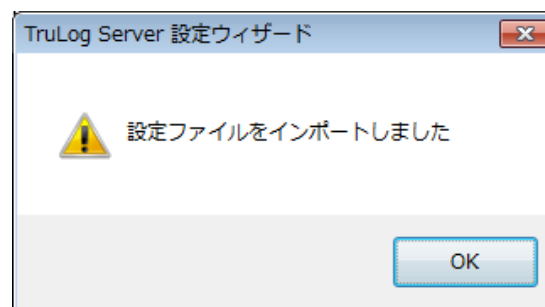


図 46 インポートの終了画面

c. TruGate ログビューアー

TruGate ログビューアーは、認証フレームワークにおける認証結果のログを一覧表示します。

i. アプリケーションの起動

「スタート」－「すべてのアプリ」－「TruStack」－「TruGate ログビューアー」の順にクリックします。

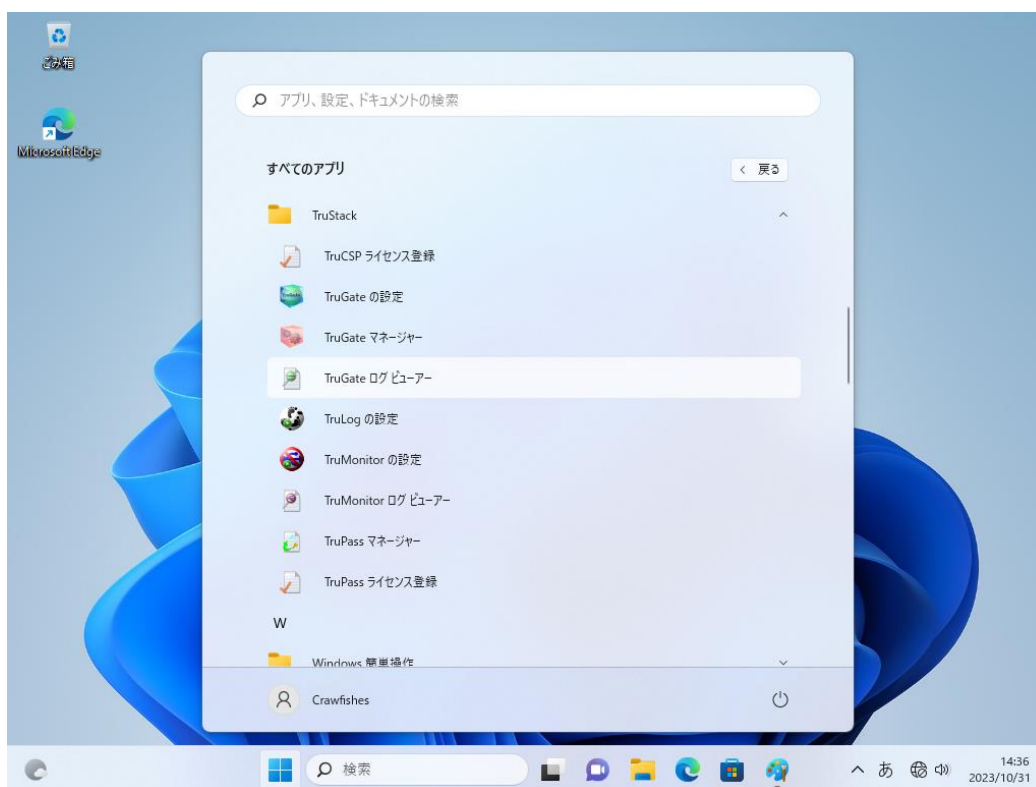


図 47 TruGate ログビューアーの起動

正常に起動されると、下記に示す「TruGate Log Viewer」ウィンドウが表示されます。

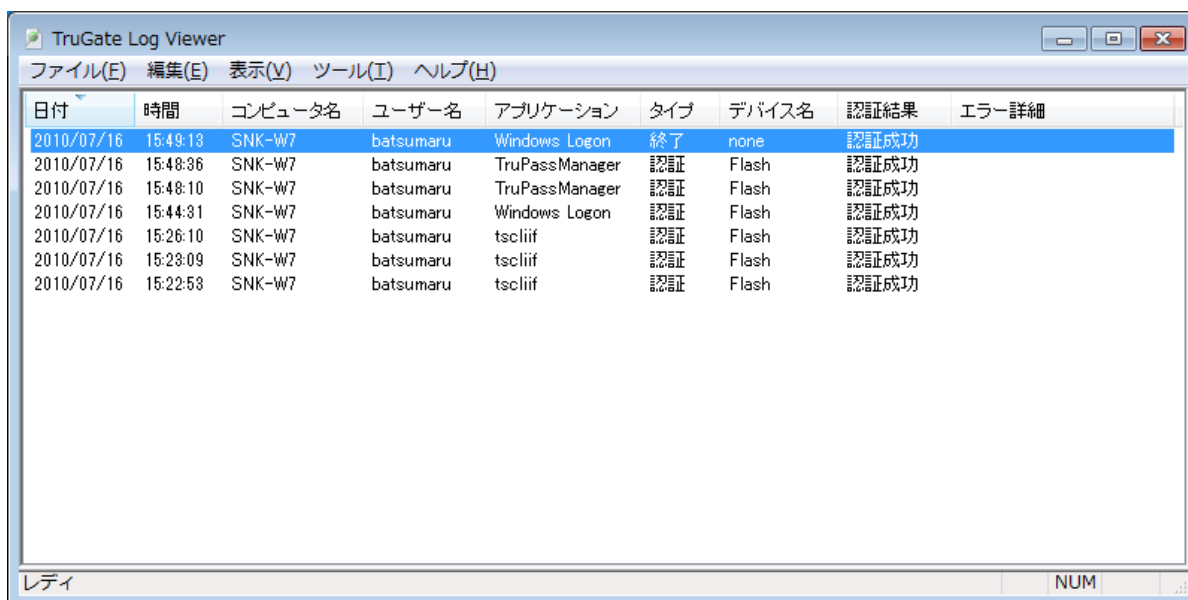


図 48 TruGate ログビューアー起動画面

最新の結果を表示するには、メニューバーから、「表示」-「最新の情報に更新」の順にクリックするか、「F5 キー」を押してください。

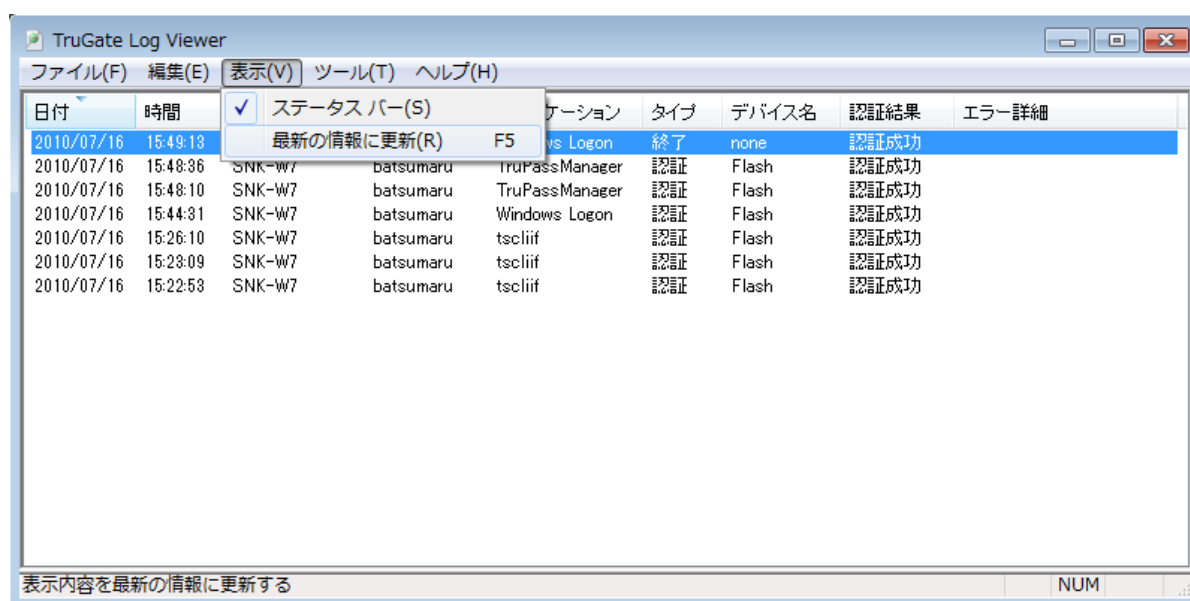


図 49 TruGate ログビューアー - リフレッシュ

起動時にログデータが存在しない場合は、下記の注意メッセージが表示されます。「OK」をクリックしてください。

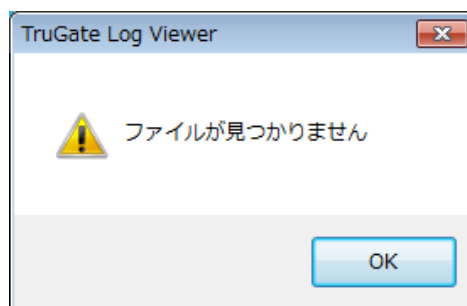


図 50 ログデータファイルが無い場合の注意画面

ii. ログサイズの変更

保存するログサイズを変更するには、メニューバーから、「ツール」-「ログサイズ...」の順にクリックしてください。

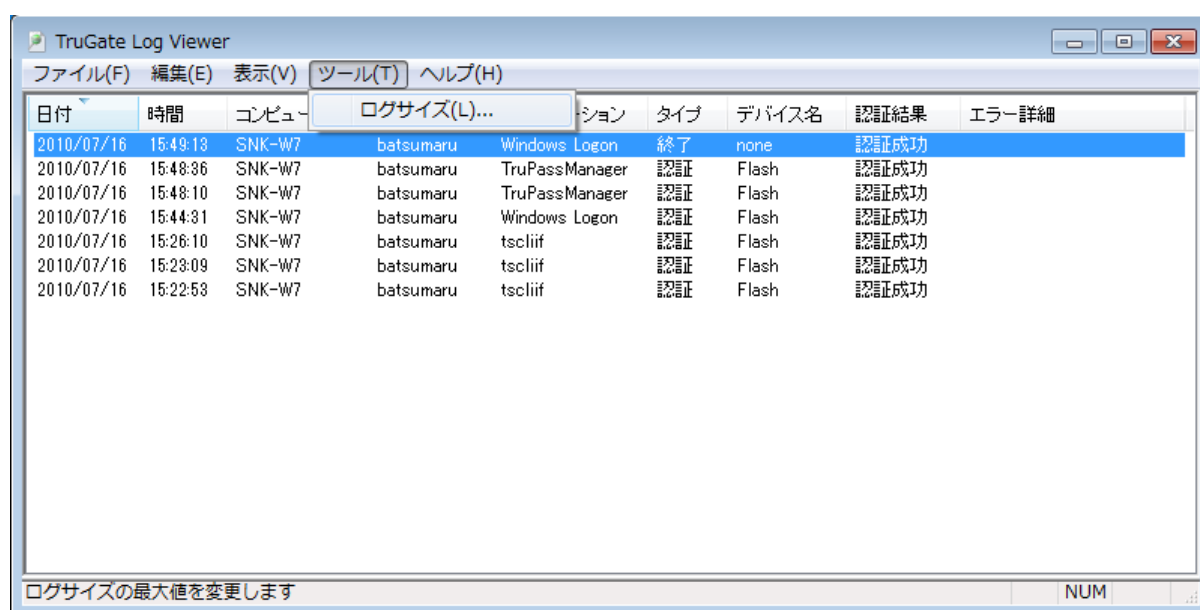


図 51 TruGate ログビューアー - ログサイズ

下記に示す「最大ログサイズの設定」ダイアログが表示されます。

エディットボックスに新しいサイズ値を入力するか、スピンボタンで値を増減してください。入力が終了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、変更した値は破棄されます。

初期値: 1000

設定可能値: 100 ~ 65535

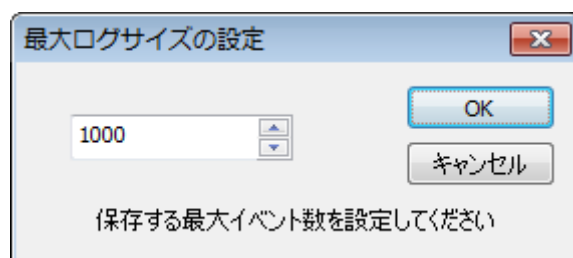


図 52 最大ログサイズの設定

iii. データのエクスポート

表示している一覧データを外部ファイルに CSV 形式で書込むには、メニューバーから、「ファイル」-「エクスポート...」の順にクリックしてください。

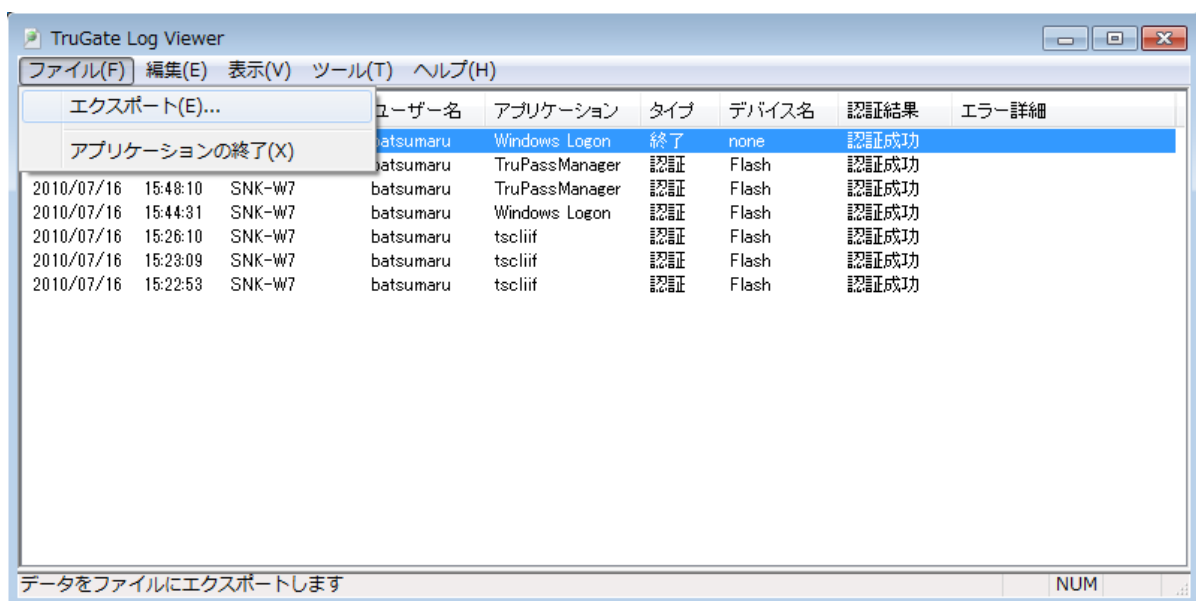


図 53 TruGate ログビューアー - エクスポート

下記に示す「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

ファイル名コンボボックスに、保存するファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エクスポートは中止されます。

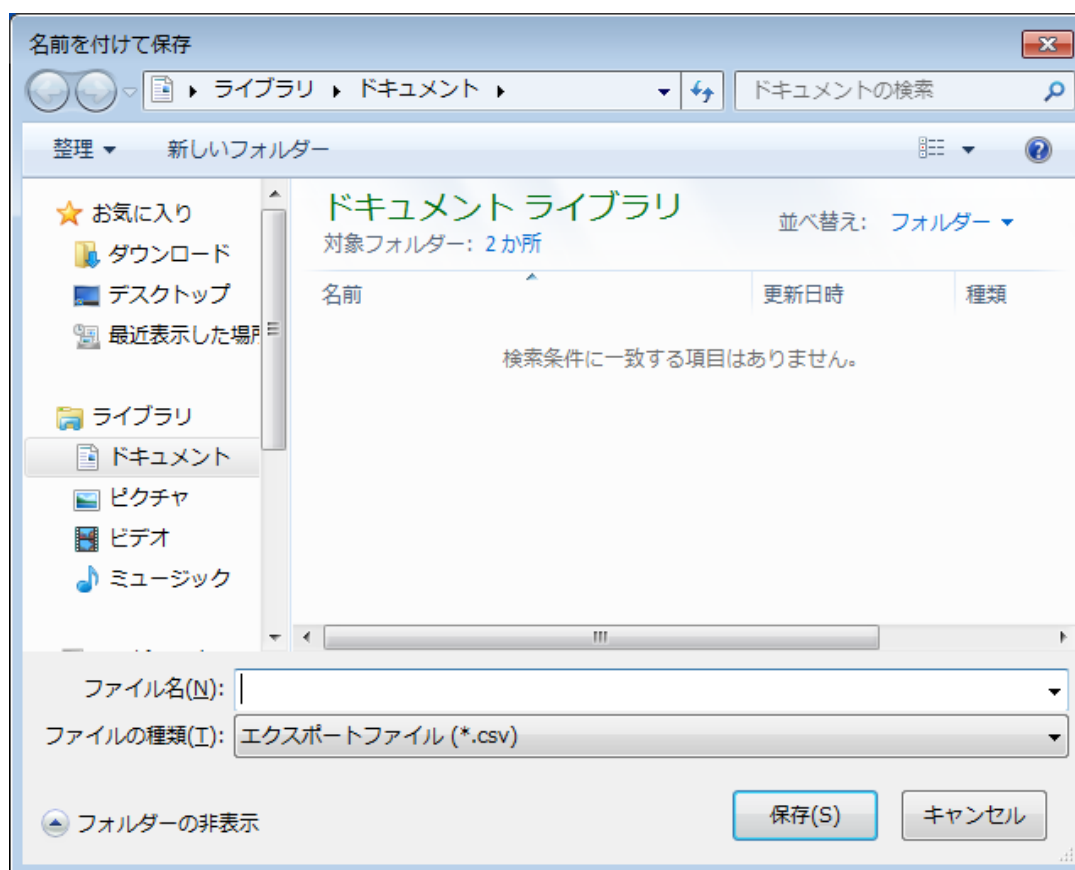


図 54 エクスポートファイルの指定

iv. アプリケーションの終了

「TruGate Log Viewer」ウィンドウのメニューバーから、「ファイル」→「アプリケーションの終了」の順にクリックします。

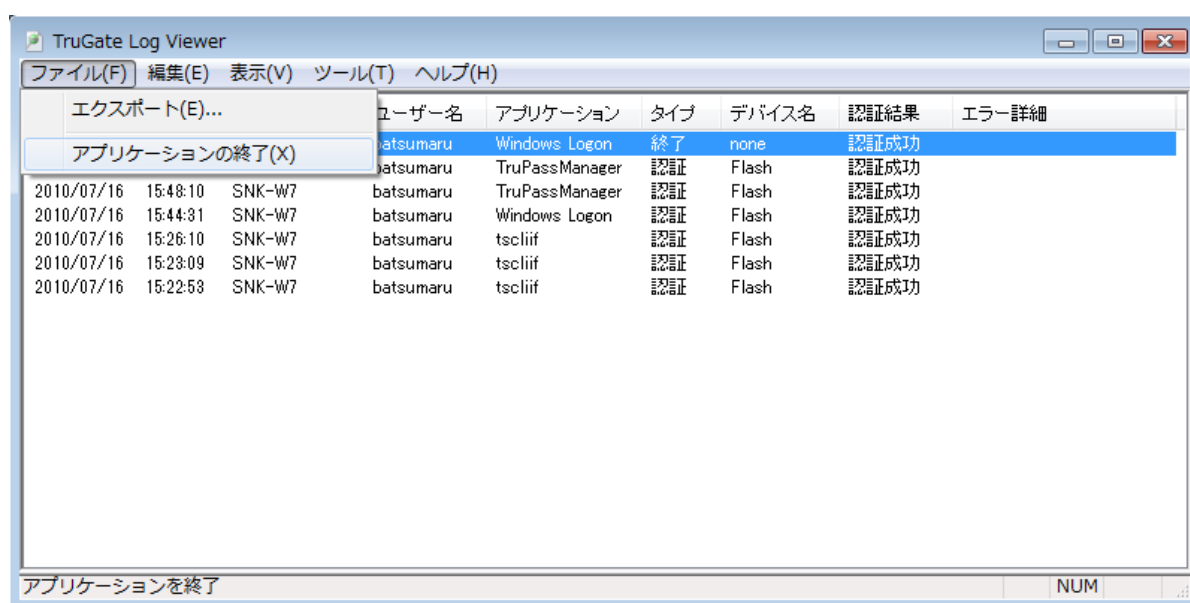


図 55 TruGate ログビューアー - 終了

d. TruMonitor ログビューアー

TruMonitor ログビューアーは、TruMonitor における検出イベントのログを一覧表示します。

i. アプリケーションの起動

「スタート」-「すべてのアプリ」-「TruStack」-「TruMonitor ログビューアー」の順にクリックします。



図 56 TruMonitor ログビューアーの起動

正常に起動されると、下記に示す「TruMonitor Log Viewer」ウィンドウが表示されます。

注）サーバーPC 側で TruMonitor ログを起動した場合、そのサーバーPC に接続した事がないデバイスのデバイス名欄には、デバイスクラス名が表示されます。実際のデバイス名を知りたい場合は、イベントが発生したコンピュータのレジストリ情報（HKLM¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Enum¥デバイスクラス名）をご参照ください。

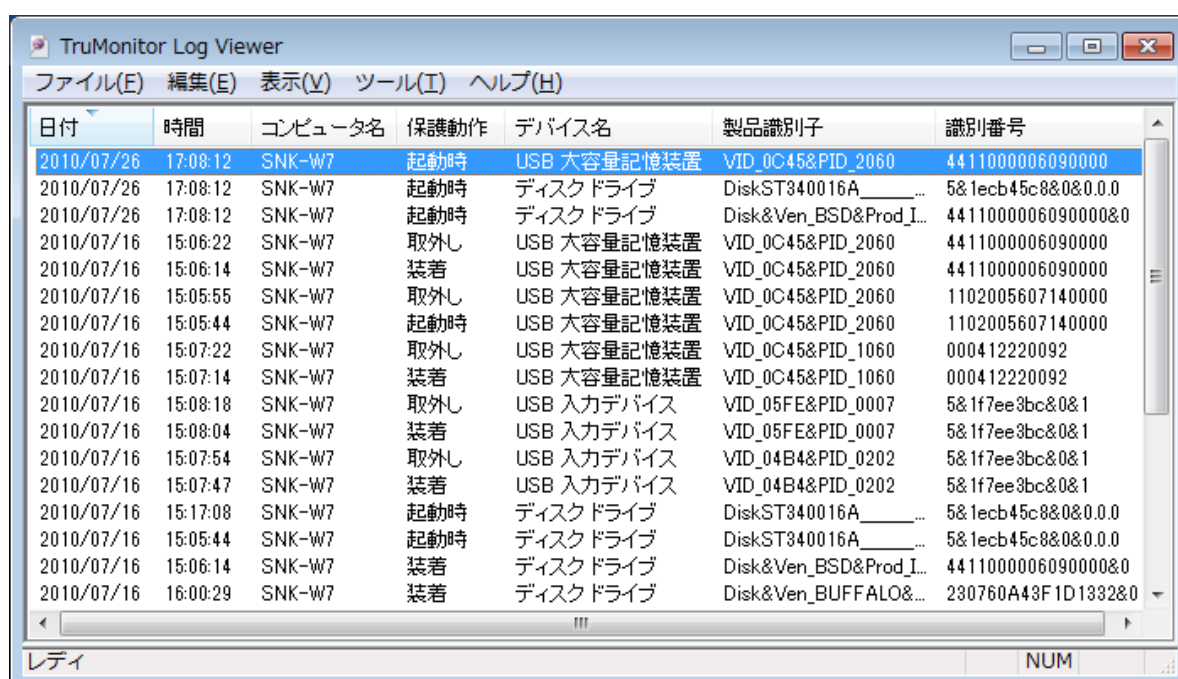


図 57 TruMonitor ログビューアー起動画面

最新の結果を表示するには、メニューバーから、「表示」-「最新の情報に更新」の順にクリックするか、「F5 キー」を押してください。



図 58 TruMonitor ログビューアー - リフレッシュ

起動時にログデータが存在しない場合は、下記の注意メッセージが表示されます。「OK」

をクリックしてください。

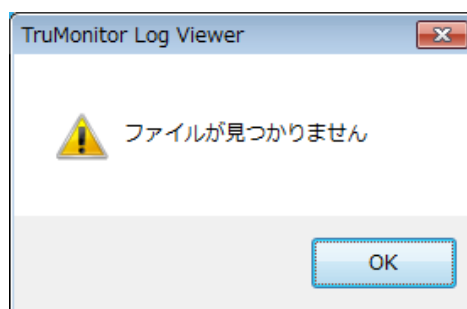


図 59 ログデータファイルが無い場合の注意画面

ii. ログサイズの変更

保存するログサイズを変更するには、メニューバーから、「ツール」-「ログサイズ...」の順にクリックしてください。

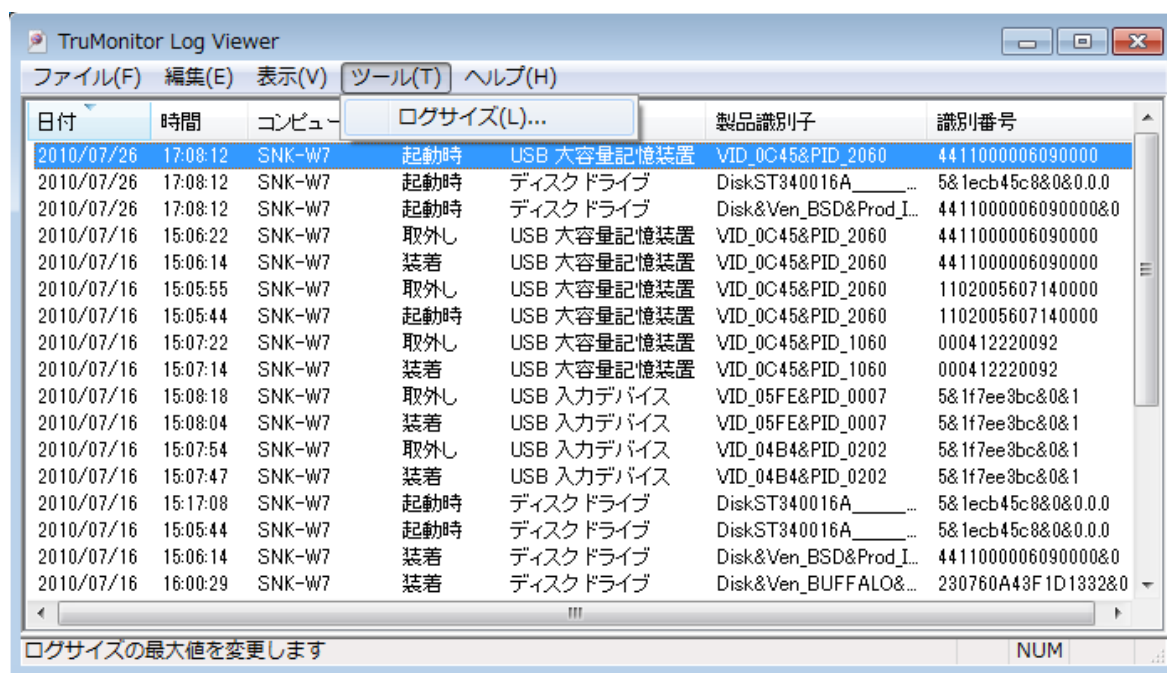


図 60 TruMonitor ログビューアー - ログサイズ

下記に示す「最大ログサイズの設定」ダイアログが表示されます。

エディットボックスに新しいサイズ値を入力するか、スピンボタンで値を増減してください。入力が終了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、変更した値は破棄されます。

初期値: 1000
設定可能値: 100 ~ 65535

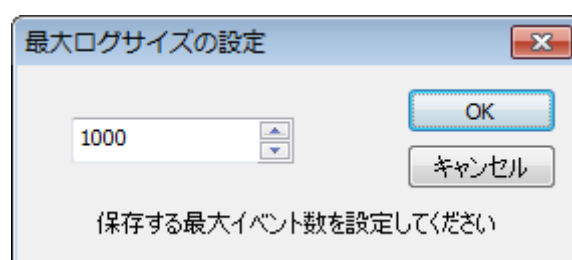


図 61 最大ログサイズの設定

iii. データのエクスポート

表示している一覧データを外部ファイルに CSV 形式で書込むには、メニューバーから、「ファイル」-「エクスポート...」の順にクリックしてください。

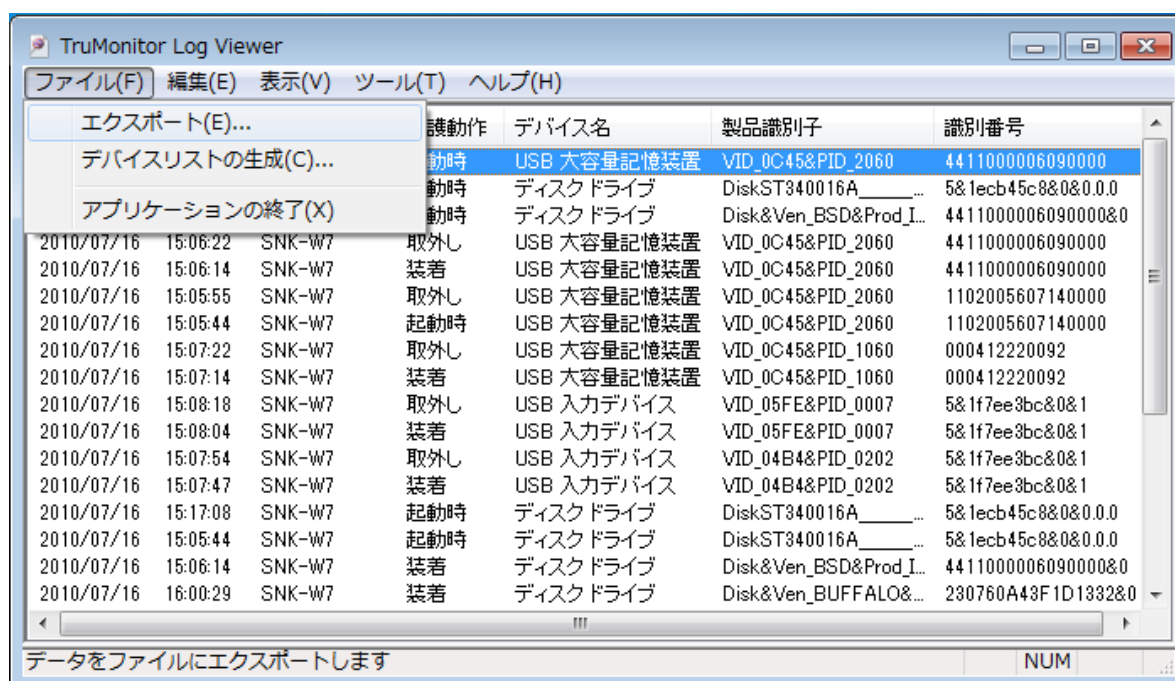


図 62 TruMonitor ログビューアー - エクスポート

下記に示す「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

ファイル名コンボボックスに、保存するファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エクスポートは中止されます。

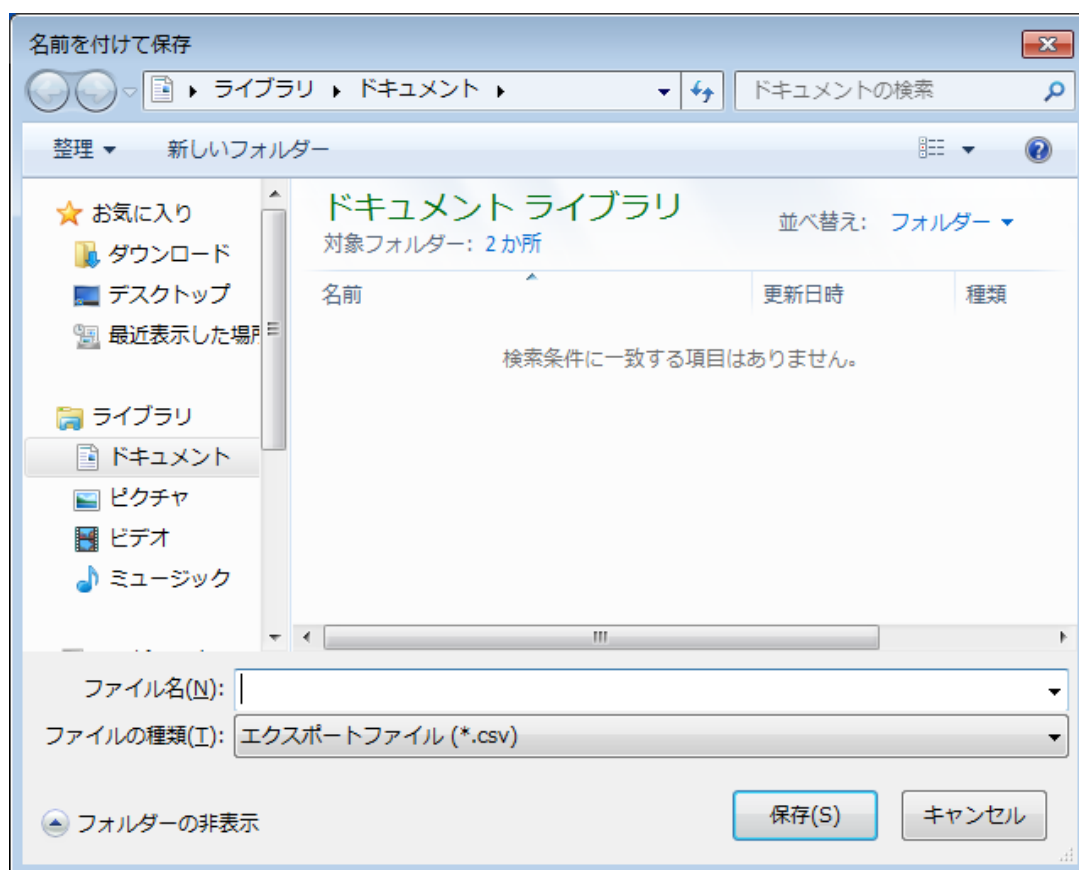


図 63 エクスポートファイルの指定

iv. デバイスリストの生成

デバイスリストは、TruMonitor の設定ウィザードを使用する際、接続許可デバイスを一括インポートする時に使用します。

表示している一覧データからデバイスリストを生成するには、メニューバーから、「ファイル」→「デバイスリストの生成...」の順にクリックしてください。

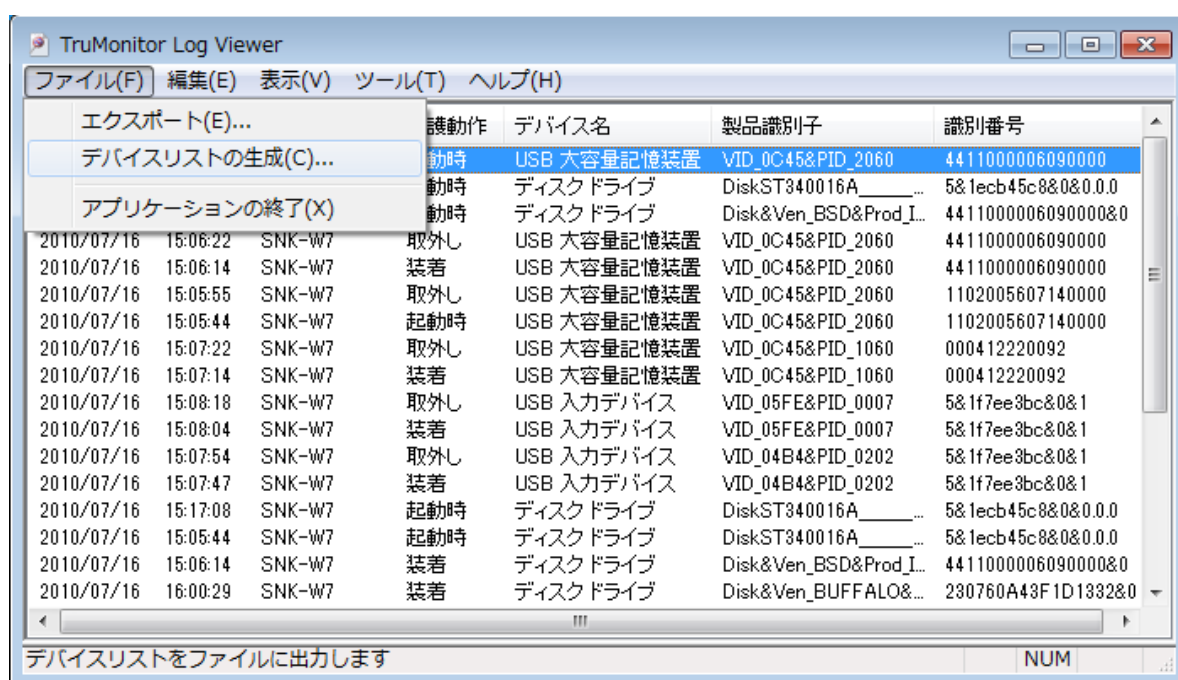


図 64 TruMonitor ログビューアー - デバイスリストの生成

下記に示す「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

ファイル名コンボボックスに、保存するファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エクスポートは中止されます。

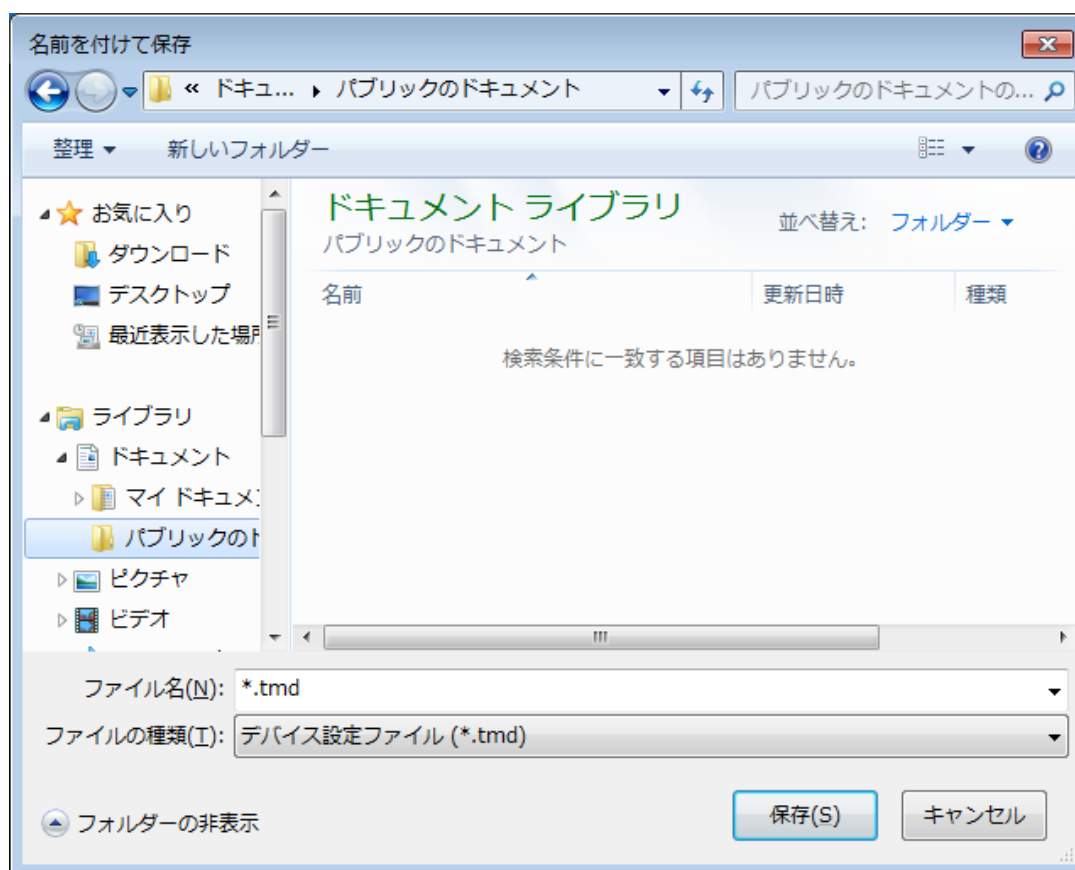


図 65 デバイスリストファイルの指定

v. アプリケーションの終了

「TruMonitor Log Viewer」ウィンドウのメニューバーから、「ファイル」→「アプリケーションの終了」の順にクリックします。

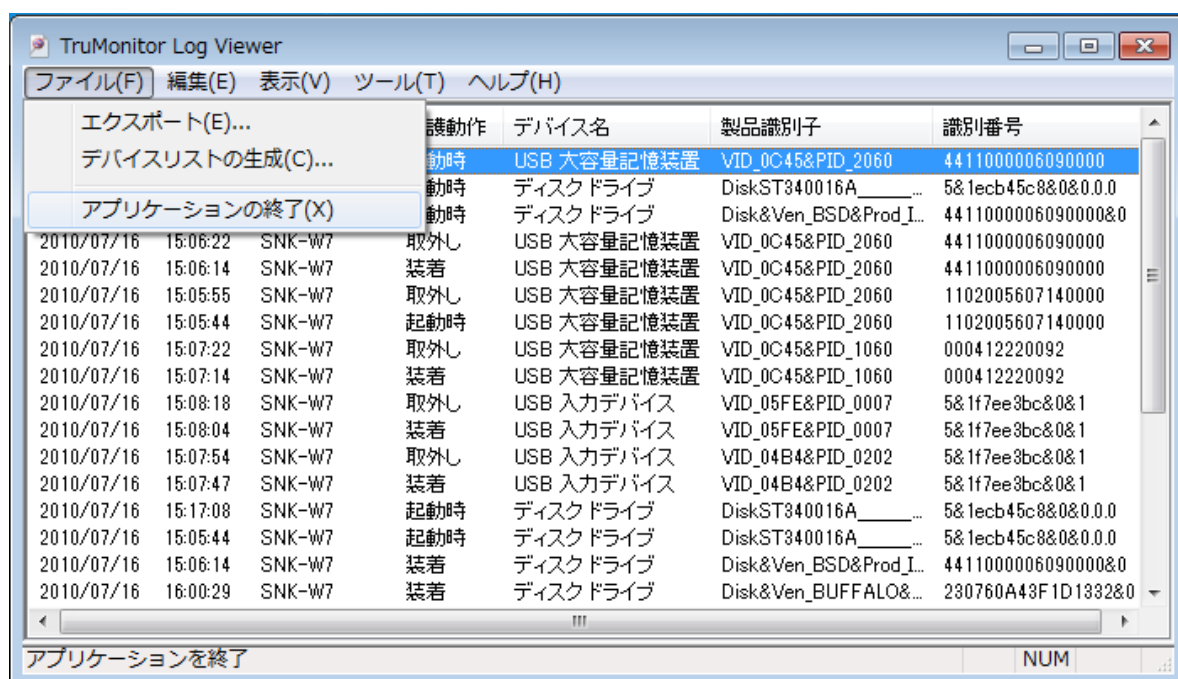


図 66 TruMonitor ログビューアー - 終了

以上

Trusted Stackware シリーズ製品に関するお問い合わせ

有限会社ディーオーアイネット

〒190-0011

東京都立川市高松町 2-25-23

E-Mail: info@doi-net.com

URL: <https://www.doi-net.com/>